©2006-2022 Medical Lab

医学部受験指導研究会

～2023年度　入試直前編～

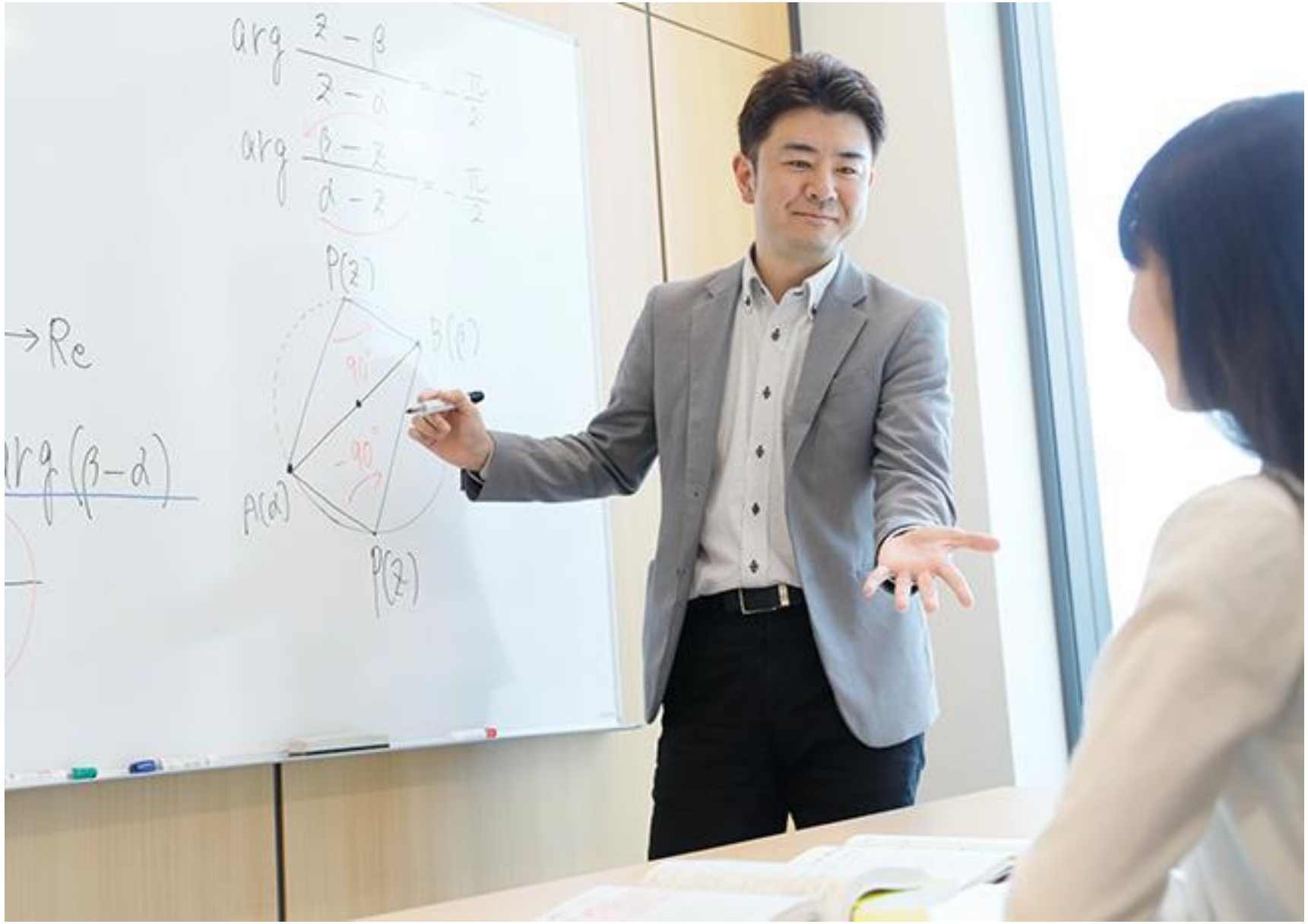
河合塾グループ 医系専門予備校
メディカル ラボ®

©2006-2022 Medical Lab

◀詳しくはこちらから

©2006-2022 Medical Lab

メディカルラボの授業は全て１：１授業



©2006-2022 Medical Lab

2022年度 メディカルラボ合格実績 医学科【1270名合格!】

■国公立大学医学部医学科 最終合格 176名

東京大学 1名、 大阪大学 2名、 北海道大学 3名、 東北大学 3名、 名古屋大学 3名、 九州大学 1名、
東京医科歯科大学 2名、 千葉大学 3名、 横浜市立大学 2名、 筑波大学 2名、 群馬大学 4名、
旭川医科大学 3名、 札幌医科大学 5名、 弘前大学 1名、 秋田大学 6名、 山形大学 1名、
福島県立医科大学 2名、 新潟大学 3名、 山梨大学 4名、 金沢大学 2名、 富山大学 2名、 福井大学 3名、
名古屋市立大学 12名、 岐阜大学 7名、 三重大学 4名、 浜松医科大学 8名、 信州大学 6名、
滋賀医科大学 4名、 京都府立医科大学 4名、 大阪公立大学 3名、 神戸大学 3名、 奈良県立医科大学 2名、
和歌山県立医科大学 1名、 岡山大学 1名、 広島大学 2名、 山口大学 3名、 鳥取大学 2名、 島根大学 1名、
愛媛大学 11名、 香川大学 1名、 徳島大学 2名、 高知大学 4名、 佐賀大学 4名、 長崎大学 2名、
熊本大学 8名、 大分大学 3名、 宮崎大学 7名、 鹿児島大学 5名、 琉球大学 4名、 防衛医科大学校 4名

■私立大学医学部医学科 最終合格 1094名

慶應義塾大学 5名、 東京慈恵会医科大学 8名、 日本医科大学 18名、 順天堂大学 17名、 昭和大学 28名、
東邦大学 31名、 日本大学 31名、 東京医科大学 26名、 杏林大学 53名、 帝京大学 35名、
東京女子医科大学 31名、 東海大学 23名、 北里大学 56名、 獨協医科大学 37名、 埼玉医科大学 36名、
自治医科大学 3名、 国際医療福祉大学 34名、 聖マリアンナ医科大学 50名、 岩手医科大学 47名、
東北医科薬科大学 22名、 金沢医科大学 67名、 愛知医科大学 76名、 藤田医科大学 68名、
大阪医科薬科大学 30名、 関西医科大学 35名、 近畿大学 41名、 兵庫医科大学 46名、
川崎医科大学 55名、 福岡大学 44名、 久留米大学 34名、 産業医科大学 7名

©2006-2022 Medical Lab

2023年度　入試直前編

Ⅰ．2023年度　医学部入試動向

Ⅱ．医学部志願者の受験校選定について

Ⅲ．医学部の志望理由書・面接・小論文について

©2006-2022 Medical Lab

Ⅰ．2023年度　医学部入試動向

©2006-2022 Medical Lab

引き続き特別な状況下で実施される2023年度入試

１．『大学入試改革』3年目に

２．3年目の『コロナ禍』での医学部入試

©2006-2022 Medical Lab

コロナ禍の「2023年度 医学部入試」の動向

①医学部志願者が増える？

©2006-2022 Medical Lab

2022年　第2回全統共通テスト模試　学部系統別　志望動向　（国公立大学　前期日程）

系統	募集人員	志望者全体			現役			女子		
		昨年	今年	前年比	昨年	今年	前年比	昨年	今年	前年比
文・人文	7,147	22,705	22,328	98%	21,416	21,033	98%	14,587	14,198	97%
社会・国際	4,044	12,347	11,941	97%	11,840	11,451	97%	8,228	7,856	95%
法・政治	4,144	11,204	11,913	106%	10,267	10,800	105%	4,596	4,918	107%
経済・経営・商	8,185	22,257	23,308	105%	20,802	21,709	104%	7,701	8,047	104%
教育ー教員養成課程	7,008	16,917	16,382	97%	16,460	15,886	97%	9,726	9,379	96%
教育ー総合科学課程	850	1,576	1,603	102%	1,518	1,542	102%	874	896	103%
理	5,084	11,253	11,474	102%	10,402	10,522	101%	2,965	3,119	105%
工	22,705	49,785	50,339	101%	45,759	46,008	101%	8,475	8,806	104%
農	5,468	10,993	11,990	109%	10,121	10,939	108%	5,526	5,966	108%
医・歯・薬・保健	10,687	37,363	40,227	108%	33,096	34,899	105%	24,420	25,818	106%
医	3,527	11,009	12,939	118%	7,649	8,724	114%	4,655	5,549	119%
歯	453	832	893	107%	710	717	101%	367	404	110%
薬	814	4,741	5,414	114%	4,431	5,030	114%	2,730	3,103	114%
看護	3,992	12,789	13,150	103%	12,556	12,860	102%	11,754	11,987	102%
医療技術・他	1,901	7,992	7,831	98%	7,750	7,568	98%	4,914	4,775	97%
生活科学	798	3,706	3,564	96%	3,635	3,483	96%	3,383	3,220	95%
芸術・スポーツ科学	1,548	4,087	4,293	105%	3,786	3,880	102%	2,546	2,635	103%
総合・環境・情報・人間	2,452	7,724	8,038	104%	7,241	7,511	104%	3,331	3,441	103%
全体	80,120	211,917	217,400	103%	196,343	199,663	102%	96,358	98,299	102%

©2006-2022 Medical Lab

2022年　第2回全統共通テスト模試　学部系統別　志望動向　(私立大学)

学部系統	一般方式			共通テスト方式			合計		
	昨年	今年	前年比	昨年	今年	前年比	昨年	今年	前年比
文・人文	222,062	206,780	93%	101,008	94,736	94%	323,070	301,516	93%
社会・国際	97,330	92,113	95%	43,475	39,947	92%	140,805	132,060	94%
法・政治	68,853	70,846	103%	29,510	29,605	100%	98,363	100,451	102%
経済・経営・商	190,245	192,348	101%	68,705	68,077	99%	258,950	260,425	101%
理	39,699	39,206	99%	20,031	20,793	104%	59,730	59,999	100%
工	149,905	149,855	100%	77,610	77,119	99%	227,515	226,974	100%
農	22,859	24,050	105%	13,042	13,270	102%	35,901	37,320	104%
医・歯・薬・保健	147,839	146,100	99%	59,863	59,602	100%	207,702	205,702	99%
医	24,659	27,194	110%	4,814	5,938	123%	29,473	33,132	112%
歯	2,546	2,469	97%	978	947	97%	3,524	3,416	97%
薬	29,950	31,424	105%	13,269	13,452	101%	43,219	44,876	104%
看護	51,053	48,983	96%	22,649	22,217	98%	73,702	71,200	97%
医療技術・他	39,631	36,030	91%	18,153	17,048	94%	57,784	53,078	92%
生活科学	31,983	27,653	86%	15,751	14,118	90%	47,734	41,771	88%
芸術・スポーツ科学	37,121	34,496	93%	21,513	21,279	99%	58,634	55,775	95%
総合・環境・情報・人間	30,295	30,778	102%	11,860	11,946	101%	42,155	42,724	101%
全体	1,038,191	1,014,225	98%	462,368	450,492	97%	1,500,559	1,464,717	98%

©2006-2022 Medical Lab

2021年　第3回全統共通テスト模試　学部系統別　志望動向

国公立大の系統別の状況－文低理高、難関資格系の人気高く

※前期日程で集計
※グラフ内の数値は志望者前年比（%）、濃い色は学部系統を、その右側の薄い色は系統内の特徴のある分野（抜粋）を示す

©2006-2022 Medical Lab

全国の国公立大学　医学部（一般前期日程）志願者数

	2018	2019	2020	2021	2022
医学部 志願者数	17,064人	16,391人	14,742人	14,773人	15,088人
前年比	94%	96%	90%	100%	102%
増減数	− 1,030人	− 673人	− 1,649人	+31人	+315人

※メディカルラボ調べ

©2006-2022 Medical Lab

コロナ禍の「2023年度 医学部入試」の動向

②試験問題が難化する？

©2006-2022 Medical Lab

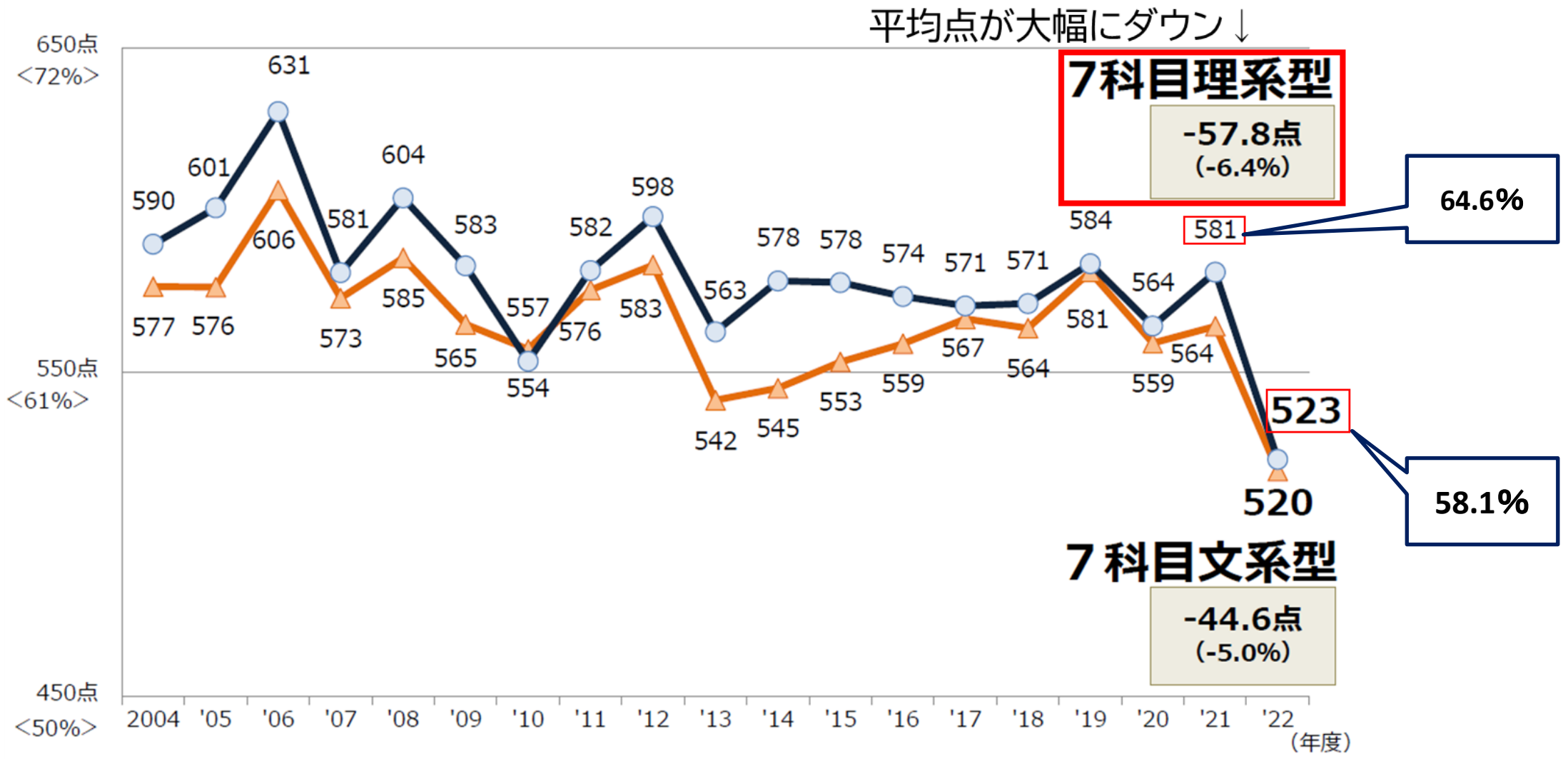
「大学入学共通テスト」の難化

試行テスト目標の平均得点率50%に近くなる？

©2006-2022 Medical Lab

共通テストリサーチでの平均点　河合塾 共通テストリサーチ集計より

【共通テストリサーチ】７科目型平均点の推移

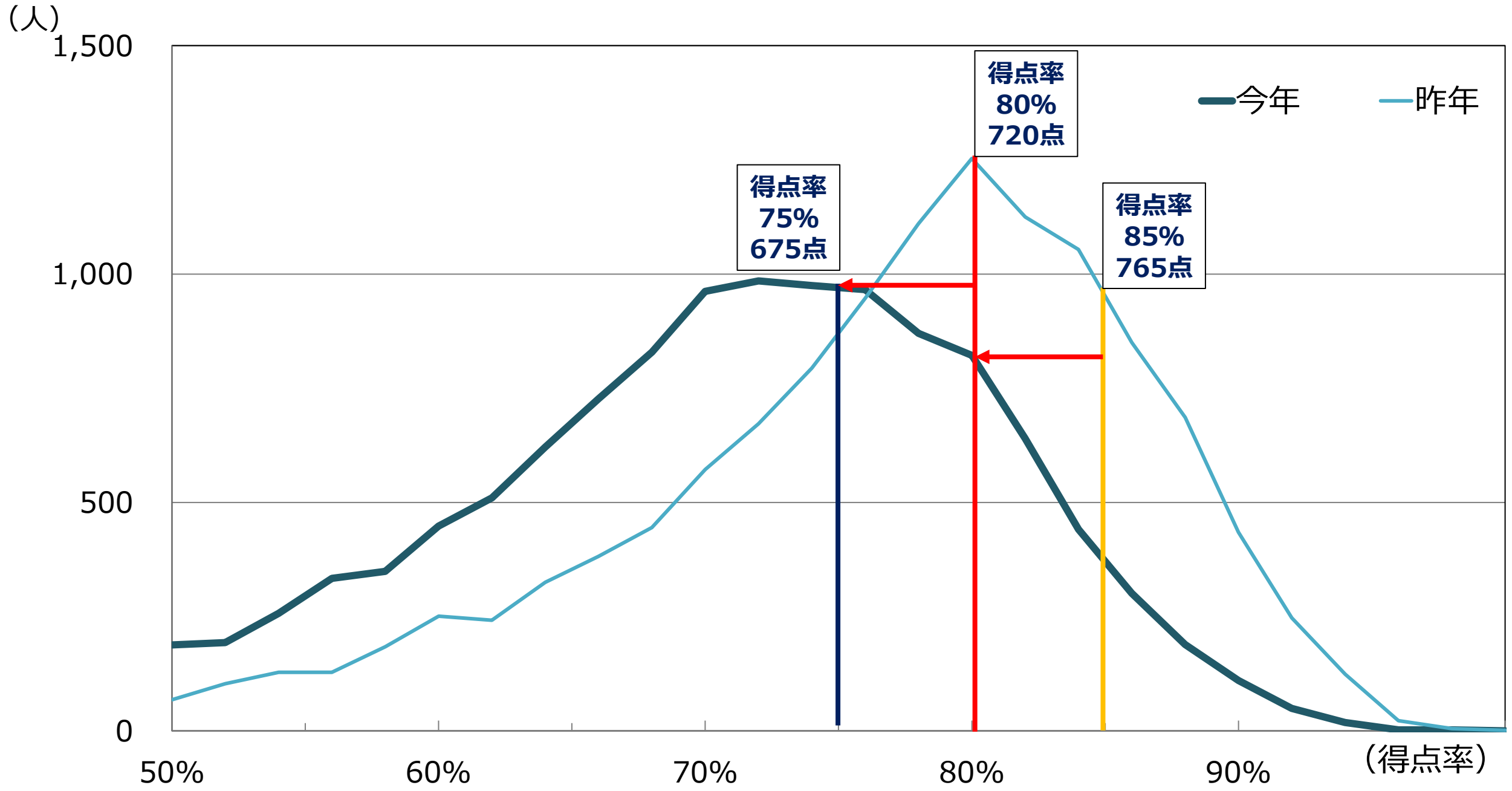


※７科目文系型（900点満点）：外・数（2科目）・国・理・地公（2科目）
※７科目理系型（900点満点）：外・数（2科目）・国・理（2科目）・地公　※理①は2科目を1科目とみなして集計

©2006-2022 Medical Lab

医学部出願予定者の得点度数分布

河合塾 共通テストリサーチ集計より



©2006-2022 Medical Lab

共通テスト・センター試験の主要科目別平均点

※大学入試センターHPより

	英語（リーディング）	英語（リスニング）	数学ⅠA	数学ⅡB	物理	化学	生物
配点	100	100	100	100	100	100	100
2022	61.80	59.45	37.96	43.06	60.72	47.63	48.81
2021	58.80	56.16	57.68	59.93	62.36	57.59	72.64
2020	58.15※	57.56※	51.88	49.03	60.68	54.79	57.56
2022-2021差	+3.00	+3.29	-19.72	-16.87	-1.64	-9.96	-23.83

※100点満点に換算

©2006-2022 Medical Lab

共通テスト・センター試験の主要科目別平均点

※大学入試センターHPより

	国語	世界史Ｂ	日本史Ｂ	地理Ｂ	倫理、政治経済
配点	200	100	100	100	100
2022	110.26 (55.13)	65.83	52.81	58.99	69.73
2021	117.51 (58.76)	63.49	64.26	60.06	69.26
2020	119.33 (59.7)	62.97	65.45	66.35	66.51
2022-2021 差	-7.25 (-3.63)	+2.34	-11.45	-1.07	+0.47

©2006-2022 Medical Lab

「個別試験」の難化

「思考力」「判断力」「表現力」を意識した出題に？

「コロナ禍」に配慮した出題からの反動？

©2006-2022 Medical Lab

国立大学医学部

「令和３年度入学者選抜における高度な記述式問題」について

国立大学協会（国大協）は大学入試改革にあわせ、

①国立大は一般選抜の全受験生に対して「高度な記述式問題」を課すこと

②そこで複数の素材を編集・操作、自身の考えを立論、その過程を表現する能力などを評価すること

を「基本方針」として示した。

（2017年11月）

©2006-2022 Medical Lab

2022-21年度　全国　私立大医学部　数学の出題難度変化

	易化	変化なし	難化
2021年度	8大学	23大学	0大学
2022年度	2大学	24大学	5大学

※メディカルラボ調べ

©2006-2022 Medical Lab

コロナ禍の「2023年度 医学部入試」の動向

③都市部から地方へ医学部受験生が流出する？

©2006-2022 Medical Lab

全国の医学部医学科[一般前期日程] 地区別 志願者数

		北海道	東北	関東・甲信越	北陸	東海	近畿	中国	四国	九州・沖縄
国公立大[前期]志願者数 2022 vs 2021	前年比%	87	113	99	114	87	106	106	93	111
	増減数	-118	+184	-17	+105	-207	+116	+108	-101	+245

		北海道	東北	関東・甲信越	北陸	東海	近畿	中国	四国	九州・沖縄
国公立大[前期]志願者数 2021 vs 2020	前年比%	92	94	102	89	104	106	100	124	95
	増減数	-74	-86	+59	-90	+56	+103	+3	+275	-112

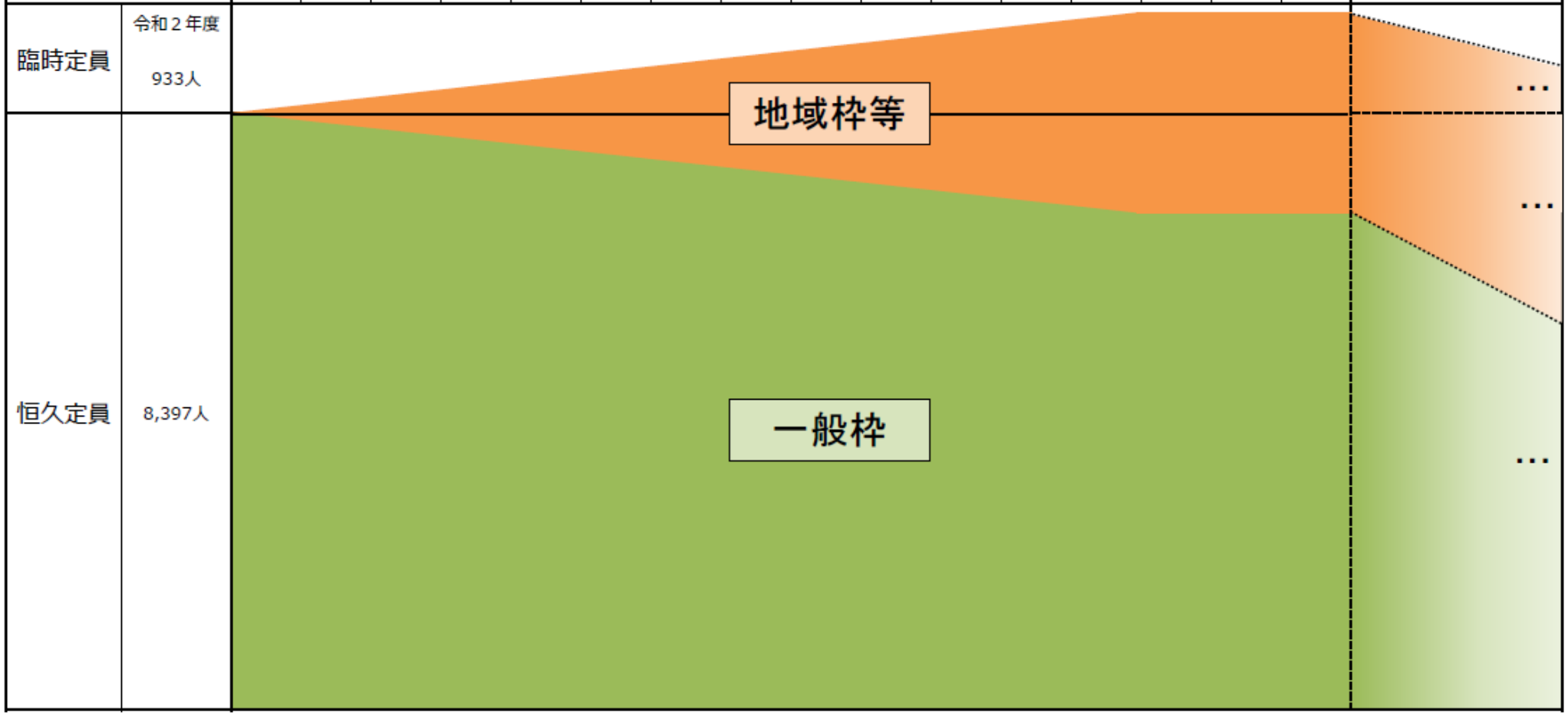
※メディカルラボ調べ

©2006-2022 Medical Lab

令和5年度以降の医師養成数について

（2020年11月　厚生労働省　医療従事者の需給に関する検討会　資料より）

年度	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2	R3	R4	R5～
	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023～
総入学定員	7,625	7,793	8,486	8,846	8,923	8,991	9,041	9,069	9,134	9,262	9,420	9,419	9,420	9,330			



地域の医師確保のために一般枠を減少し、地域枠の割合を増加させる。

©2006-2022 Medical Lab

2023年度　主な入試変更点（募集人員）[国公立大]

大学名	区分	項目	2023年度	2022年度
北海道大学	前期	募集人員	85名	92名
東京医科歯科大学	前期	募集人員	69名	79名
名古屋大学	前期・後期	募集人員	前期：一般枠85名、地域枠5名 後期：一般枠5名	前期：一般枠90名 後期：地域枠5名
大阪大学	前期	募集人員	92名	95名
九州大学	前期	募集人員	105名	110名
長崎大学	前期	募集人員	71名	76名
岐阜大学	前期・後期	募集人員	前期：55名 後期：廃止	前期：45名 後期：10名
鹿児島大学	後期	募集人員	21名	23名

※2022/9/27現在。今後、変更される場合があります。

©2006-2022 Medical Lab

2023年度　主な入試変更点（地域枠）[国公立大]

大学名	区分	項目	2023年度	2022年度
東京医科歯科大学	地域特別枠 推薦	募集区分 募集人員	茨城県（茨城県内2名・全国3名） 長野県（全国5名） 埼玉県（全国5名）	茨城県（茨城県内2名） 長野県（全国2名）
新潟大学	学校推薦型	募集人員	一般枠：20名 地域枠：県内22名、全国18名	一般枠：20名 地域枠：県内22名、全国11名
横浜市立大学	特別公募制 学校推薦型 （県外）	募集人員	地域医療枠：6名 神奈川県指定診療科枠：1名	地域医療枠：5名 神奈川県指定診療科枠：1名
和歌山県立医科大学	学校推薦型	募集区分 募集人員	一般枠：6名（県内） 県民医療枠A：5名（全国） 県民医療枠B：3名（全国）「産科」 地域医療枠：10名（県内）	一般枠：6名（県内） 県民医療枠：5名（全国） 地域医療枠：10名（県内）
	前期	募集区分 募集人員	一般枠：64名（全国） 県民医療枠A：10名（全国） 県民医療枠C：2名（全国）「産科・小児科・精神科」	一般枠：64名（全国） 県民医療枠：15名（全国）
山口大学	学校推薦型 （特別枠）	募集区分 募集人員	緊急医師確保対策枠：5名 地域医療再生枠：10名 重点医師確保対策枠：2名	緊急医師確保対策枠：5名 地域医療再生枠：10名

※2022/9/27現在。今後、変更される場合があります。

©2006-2022 Medical Lab

国公立大学医学部　2023年度　地域枠選抜　実施大学

※「2023年度用全国医学部最新受験情報」 P42より抜粋

大学名	一般	推薦	名称	募集人員
旭川医科大学		●	道北・道東特別選抜（道東・道北）	10名
	—	—	「総合型」北海道特別選抜（北海道）	32名
弘前大学	●		前期青森県定着枠	20名※1
	—	—	「総合型」青森県内枠（青森県）	27名※1
	—	—	「総合型」北海道・東北枠（北海道、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県）	15名※1
秋田大学	●		後期秋田県地域枠（秋田県）	4名※1
		●	秋田県地域枠（秋田県）	20名程度※1
		●	全国地域枠	5名程度※1
筑波大学	●		前期地域枠（全国対象）	未定※2
	●		前期地域枠（茨城県内対象）	未定※2
		●	地域枠（茨城県内対象）	18名※1
群馬大学	●		前期地域医療枠	6名※3
		●	地域医療枠（群馬県）	12名※3
千葉大学	●		前期千葉県地域枠	5名
東京医科歯科大学		●	茨城県地域特別枠（茨城県内対象）	2名※1
		●	茨城県地域特別枠（全国対象）	3名※1
		●	長野県地域特別枠	5名以内※1
		●	埼玉県地域特別枠	5名以内※1
新潟大学		●	地域枠	22名※3
			新潟県地域枠（新潟県）	18名※3
富山大学		●	地域枠（富山県）	15名以内
	—	—	「総合型」富山県一般枠（富山県）	10名
	—	—	「総合型」富山県特別枠（富山県）	10名※3
金沢大学		●	石川県特別枠	10名程度※1
		●	富山県特別枠	2名程度※1
福井大学		●	地域枠（福井県）	10名程度
		●	福井健康推進枠	10名程度※3
山梨大学		●	地域枠（山梨県）	35名以内※4
信州大学		●	地元出身者枠（長野県）	10名
		●	地域枠（長野県）	15名※3
岐阜大学		●	地域枠［岐阜県コース・地域医療コース］（岐阜県）	28名※1
浜松医科大学	●		前期地域枠	7名
	●		後期地域枠	1名
		●	地域枠	7名
名古屋大学	●		前期地域枠（愛知県）	5名※1
三重大学	●		前期三重県医療枠	5名程度※5
		●	地域枠Ａ（三重県）	25名程度※5
		●	地域枠Ｂ（三重県）	5名程度※5
滋賀医科大学	●		前期地域医療枠	5名※3
		●	地元医療枠（滋賀県）	6名
神戸大学		●	地域特別枠（兵庫県）	10名

大学名	一般	推薦	名称	募集人員
鳥取大学	●		前期鳥取県地域枠	14名※1※7
	●		前期兵庫県地域枠（兵庫県）	2名※1※7
	●		前期島根県地域枠	5名※1※7
		●	地域枠（鳥取県）	5名
		●	特別養成枠（鳥取県）	6名※1
島根大学	●		前期県内定着枠	3名※3
		●	地域枠（島根県）	10名以内※3
		●	緊急医師確保対策枠	4名以内※3
		●	緊急医師確保対策枠［うち島根県内枠］（島根県）	5名以内※3
岡山大学		●	岡山県地域枠（岡山県）	4名※3
		●	鳥取県地域枠（鳥取県）	1名※3
		●	広島県地域枠（広島県）	2名※3
		●	兵庫県地域枠（兵庫県）	2名※3
広島大学		●	広島大学光り輝き入試［ふるさと枠］（広島県）	18名※8
山口大学	●		後期地域枠（山口県）	3名以内
		●	地域枠（山口県）	22名以内
		●	特別枠［緊急医師確保対策枠］（山口県）	5名以内※3
		●	特別枠［地域医療再生枠］（山口県）	10名以内※3
		●	特別枠［重点医師確保対策枠］（山口県）	2名以内※3
徳島大学		●	地域枠［地域特別枠含む］	17名※2※9
	—	—	「総合型」四国研究医型（徳島県、香川県、愛媛県、高知県）	各2、計8名
香川大学	●		前期地域枠（香川県）	9名※2
		●	地域枠（香川県）	5名※2
		●	県内高校出身枠（香川県）	13名程度
愛媛大学		●	地域特別枠（愛媛県）	5名
	—	—	「総合型」地域枠（愛媛県）	10名

＊（　）は、出願要件として示された地域。ただし、青字で示された地域枠は全国の受験者を対象とするものです。なお、申請が認可されない場合、地域枠の募集がなくなることもあるので、実施の有無について必ず各大学のホームページ等で確認してください。

※1　認可申請予定。
※2　調整中。
※3　認可申請中。
※4　うち20名は認可申請中。
※5　認可申請中の増員分を含む昨年度実績。
※6　うち12名は認可申請予定。
※7　出願要件として示された地域は昨年度実績。
※8　うち13名は認可申請中。
※9　うち地域特別枠は12名以内。
※10　うち5名は認可申請中。
※11　うち全体で5名は認可申請中。
※12　認可申請中の増員分若干名が含まれる場合あり。
※13　うち10名は認可申請中。
※14　うち全体で12名は認可申請中。
※15　うち8名は認可申請予定。
※16　名古屋市立高校出身の現役と1浪を対象とする。
※17　学校推薦型選抜の入学者数に従い増減する。

大学名	一般	推薦	名称	募集人員
高知大学	●		前期地域枠［大学独自枠］	5名
		●	四国・瀬戸内地域枠（四国4県、兵庫県、岡山県、広島県、山口県）	20名※10
	—	—	「総合型」地域枠	30名
佐賀大学		●	佐賀県地域枠（佐賀県）	18名※11
		●	長崎県地域枠（長崎県）	1名※11
		●	佐賀県推薦入学	4名
長崎大学		●	長崎医療枠（長崎県）	15名
		●	地域医療特別枠（長崎県）	15名※3
		●	佐賀県地域枠（佐賀県）	2名※3
		●	宮崎県地域枠（宮崎県）	2名※3
熊本大学		●	地域枠（熊本県）	8名※12
		●	熊本みらい医療枠（熊本県）	10名※12
大分大学	●		前期地元出身者枠（大分県）	10名
	—	—	「総合型」地域枠（大分県）	13名※13
宮崎大学		●	地域枠Ａ（宮崎県）	10名
		●	地域枠Ｂ（宮崎県）	15名
		●	地域枠Ｃ	15名
鹿児島大学		●	地域枠（鹿児島県）	18名※1
琉球大学		●	地域枠（沖縄県）	14名程度※14
		●	離島・北部枠（離島部・本島北部）	3名程度※14
札幌医科大学	●		前期先進研修連携枠	55名
		●	先進研修連携枠（北海道）	20名
		●	特別枠（北海道）	15名※15
福島県立医科大学	●		前期地域枠	30名程度※1
		●	Ａ枠［県内現役］（福島県）	25名程度
		●	Ａ枠［県内既卒］（福島県）	10名程度
		●	Ｂ枠［県外］	15名以内※1
横浜市立大学	●		前期地域医療枠	9名
	●		前期神奈川県指定診療科枠（神奈川県）	2名※3
		●	地域医療枠［県内高校区分］（神奈川県）	10名
		●	地域医療枠［県外高校区分］	6名
		●	神奈川県指定診療科枠［県内高校区分］（神奈川県）	2名※3
		●	神奈川県指定診療科枠［県外高校区分］	1名※3
名古屋市立大学		●	地域枠（愛知県）	7名※2
		●	中部圏活躍型（愛知県、岐阜県、三重県、静岡県、長野県、福井県、石川県、富山県、滋賀県）	27名
		●	名古屋市高大接続型（名古屋市）	3名※16
京都府立医科大学		●	地域枠（京都府）	7名
大阪公立大学		●	地域医療枠（大阪府）	10名
奈良県立医科大学		●	地域枠（奈良県）	25名
		●	緊急医師確保特別入試	13名
和歌山県立医科大学	●		前期県民医療枠Ａ［診療科指定なし］	10名程度※17
	●		前期県民医療枠Ｃ［不足診療科枠］	2名程度※17
		●	一般枠［県内募集］（和歌山県）	6名程度
		●	県民医療枠Ａ［診療科指定なし］	5名程度
		●	県民医療枠Ｂ［産科枠］	3名程度
		●	地域医療枠（和歌山県）	10名

©2006-2022 Medical Lab

私立大学医学部　2023年度　地域枠選抜　実施大学

※「2023年度用全国医学部最新受験情報」 P10より抜粋

大学名	一般	推薦	名称	募集人員
岩手医科大学	●		地域枠C（全国枠）	5名
	●		地域枠D（全国枠・診療科指定）	7名※1
		●	地域枠A［岩手県出身者枠］（岩手県）	15名
		●	地域枠B［東北出身者枠］（岩手を含む東北6県）	8名（うち岩手県4名）
		●	秋田県地域枠［秋田県出身者枠］（秋田県）	2名
東北医科薬科大学※2	●		修学資金枠A方式［宮城県］	30名
	●		修学資金枠A方式［宮城県を除く東北5県］	5名（各県1名）
	●		修学資金枠B方式［宮城県を除く東北5県］	20名
自治医科大学	●		栃木県地域枠（栃木県）	3名
獨協医科大学	●		栃木県地域枠	5名※3
		●	指定校制（栃木県地域枠）	5名以内（予定）※4
		●	地域特別枠（北関東3県、埼玉県、福島県、東京都）	10名
埼玉医科大学		●	埼玉県地域枠	19名※1
杏林大学	●		東京都地域枠（東京都）	計13名※1※5
	●		新潟県地域枠	
順天堂大学	●		東京都地域枠（東京都）	10名※1
	●		新潟県地域枠	1名※1
	●		千葉県地域枠	5名※1
	●		埼玉県地域枠	10名※1
	●		静岡県地域枠	5名※1
	●		茨城県地域枠	2名※1
昭和大学	—		地域枠（静岡県・新潟県・茨城県）	調整中
帝京大学	●		茨城県特別地域枠（茨城県）	1名
	●		福島県特別地域枠	2名※1
	●		千葉県特別地域枠	2名※1
	●		静岡県特別地域枠	2名※1
東京医科大学		●	茨城県地域枠（茨城県）	8名以内※6
		●	埼玉県地域枠	2名以内※6
		●	新潟県地域枠	3名以内※6
日本大学	—	—	「特別選抜」埼玉県地域枠	5名※1
	—	—	「特別選抜」新潟県地域枠	2名※1
	—	—	「特別選抜」茨城県地域枠	3名※1
	—	—	「特別選抜」静岡県地域枠	3名※1
	—	—	「特別選抜」神奈川県地域枠（神奈川県）	2名※1
日本医科大学	●		千葉県地域枠	7名（前4後3）
	●		静岡県地域枠	4名（前3後1）
	●		埼玉県地域枠	2名（前1後1）
	●		新潟県地域枠	2名（前1後1）
	●		東京都地域枠（東京都）	5名

大学名	一般	推薦	名称	募集人員
北里大学	●		相模原市修学資金枠	2名
		●	地域枠指定校（山梨県）	2名
		●	地域枠指定校（茨城県）	4名
		●	地域枠指定校（神奈川県）	5名
		●	地域枠指定校（埼玉県）	2名
		●	地域枠指定校（新潟県）	3名
聖マリアンナ医科大学		●	神奈川県地域枠（神奈川県）	5名
東海大学	●※7		神奈川県地域枠（神奈川県）	5名
	●※7		静岡県地域枠	3名
金沢医科大学		●	指定校・指定地域制（北陸3県など）	6名（うち指定地域約1名）※8
愛知医科大学	●※7		愛知県地域特別枠 B方式（愛知県）	約5名
		●	愛知県地域特別枠 A方式（愛知県）	約5名
藤田医科大学	●		愛知県地域枠（愛知県）	10名（前5後5）
大阪医科薬科大学	●		大阪府地域枠	2名※9
関西医科大学		●	大阪府地域枠	5名※9
		●	静岡県地域枠	8名※9
		●	新潟県地域枠	2名※9
近畿大学	●		大阪府地域枠	3名※9
	●		奈良県地域枠	2名※9
	●		和歌山県地域枠	2名※9
	●		静岡県地域枠	10名※9
兵庫医科大学	●		兵庫県推薦入学枠	3名
		●	地域指定制（兵庫県）	5名以内
川崎医科大学	●		岡山県地域枠	約10名
	●		静岡県地域枠	10名※1
	●		長崎県地域枠	6名※1
		—	「総合型選抜」中国・四国地域出身者枠（中国・四国地域）	約20名
		—	「総合型選抜」霧島市地域枠（鹿児島県霧島市）	約1名
久留米大学		●	福岡県特別枠（福岡県）	5名※9
産業医科大学		●※10	北海道・東北・関東甲信越・静岡（Aブロック）	各15名以内（計25名以内）
		●※10	北陸・東海［静岡を除く］・近畿・中国・四国（Bブロック）	
		●※10	九州・沖縄（Cブロック）	
福岡大学		●	地域枠（沖縄含む九州地方、山口県）	10名

©2006-2022 Medical Lab

2023年度入試における新潟県の地域枠

	地域枠設定人数			修学資金貸与額 6年間／月額
	R4	R5 上限	R5−R4	
新潟大学	33名	40名	＋7名	1,080万円／月 15万円
順天堂大学	2名	1名	−1名	2,160万円／月 30万円
関西医科大学	2名	2名		
昭和大学	7名	7名		
東邦大学	5名	7名	＋2名	
東京医科大学	2名	3名	＋1名	
杏林大学	2名	3名	＋1名	3,700万円／月約50万円（※1）
日本医科大学	—	2名	＋2名	2,160万円／月 30万円
日本大学	—	2名	＋2名	3,660万円／月約50万円（※2）
北里大学	—	3名	＋3名	
地域枠合計	53名	（最大70名）	＋17名	

修学資金は9年間の指定勤務で全額返還免除になります

©2006-2022 Medical Lab

私立大学医学部の奨学金・修学資金制度（一部抜粋）

※「2023年度用全国医学部最新受験情報」 P31より抜粋

大学名	名称	分類	金額	募集人員	応募資格の制限 ※1	返還免除の有無 ※2
岩手医科大学	医療局医師奨学金貸付制度（一般枠）	貸与	6年総額2,160万円（月額30万円）	8名	有	有
	市町村医師養成修学資金貸付制度	貸与	月額20万円＋入学一時金760万円	15名	有	有
東北医科薬科大学	東北地域医療支援修学資金A方式（宮城県）	貸与	6年総額3,000万円（毎年500万円）	30名	無	有
	東北地域医療支援修学資金A方式（宮城県を除く東北5県）	貸与		5名（各県1名）	無	有
	東北地域医療支援修学資金B方式（宮城県以外の東北5県）	貸与	6年総額1,500万円（毎年250万円）＋各県の修学資金（約1,100万円～）	20名	一部制限有り	有
埼玉医科大学	医学部特別奨学金	貸与	6年総額1,850 万円（入学時350万円、2年次以降年300万円）	5名以内	無	有
	埼玉県地域枠医学生奨学金	貸与	月額20万円（6年総額1,440万円）	19名（予定）	無（予定）	有
国際医療福祉大学	特待奨学生制度（奨学生 S）	給付	6年総額1,700万円＋学生寮の寮費全額（1年次：300万円、2年次以降：280万円）	一般 20 名	無	—
	特待奨学生制度（奨学生 A）	給付	6年総額1,400万円（1年次250万円、2年次以降230万円）	一般 25 名・共テ 5 名	無	—
獨協医科大学	栃木県医師修学資金制度	貸与	6年総額2,200万円（毎年350万円、入学金100万円）	5名（予定）	無	有
杏林大学	東京都地域医療医師奨学金（特別貸与奨学金）	貸与	6年総額4,420万円（修学費：6年総額3,700万円、生活費：6年総額720万円）	10名（予定）	有	有
	新潟県医師養成修学資金貸与制度	貸与	6年総額3,700万円	未定	無	有
順天堂大学	学費減免特待生制度	減免	6年間で1,380万円を減免	一般A 成績上位10名	無	—
	埼玉県医師育成奨学金制度	貸与	月額20万円（6年総額1,440万円）	10名（予定）	無	有
	千葉県医師修学資金貸付制度	貸与	月額20万円（6年総額1,440万円）	5名（予定）	無	有
	静岡県医学修学研修資金制度	貸与	月額20万円（6年総額1,440万円）	5名（予定）	無	有
	東京都地域医療医師奨学金（特別貸与奨学金）	貸与	6年総額2,800万円（修学費：6年総額2,080万円、生活費：6年総額720万円）	10名（予定）	有	有

©2006-2022 Medical Lab

私立大学医学部の奨学金・修学資金制度（一部抜粋）

※「2023年度用全国医学部最新受験情報」 P31より抜粋

大学名	名称	分類	金額	募集人員	応募資格の制限 ※1	返還免除の有無 ※2
岩手医科大学	医療局医師奨学金貸付制度（一般枠）	貸与	6年総額2,160万円（月額30万円）	8名	有	有
	市町村医師養成修学資金貸付制度	貸与	月額20万円＋入学一時金760万円	15名	有	有
東北医科薬科大学	東北地域医療支援修学資金A方式（宮城県）	貸与	6年総額3,000万円（毎年500万円）	30名	無	有
	東北地域医療支援修学資金A方式（宮城県を除く東北5県）	貸与		5名（各県1名）	無	有
	東北地域医療支援修学資金B方式（宮城県以外の東北5県）	貸与	6年総額1,500万円（毎年250万円）＋各県の修学資金（約1,100万円～）	20名	一部制限有り	有
埼玉医科大学	医学部特別奨学金	貸与	6年総額1,850 万円（入学時350万円、2年次以降年300万円）	5名以内	無	有
	埼玉県地域枠医学生奨学金	貸与	月額20万円（6年総額1,440万円）	19名（予定）	無（予定）	有
国際医療福祉大学	特待奨学生制度（奨学生 S）	給付	6年総額1,700万円＋学生寮の寮費全額（1年次：300万円、2年次以降：280万円）	一般 20 名	無	ー
	特待奨学生制度（奨学生 A）	給付	6年総額1,400万円（1年次250万円、2年次以降230万円）	一般 25 名・共テ 5 名	無	ー
獨協医科大学	栃木県医師修学資金制度	貸与	6年総額2,200万円（毎年350万円、入学金100万円）	5名（予定）	無	有
杏林大学	東京都地域医療医師奨学金（特別貸与奨学金）	貸与	6年総額4,420万円（修学費：6年総額3,700万円、生活費：6年総額720万円）	10名（予定）	有	有
	新潟県医師養成修学資金貸与制度	貸与	6年総額3,700万円	未定	無	有
順天堂大学	学費減免特待生制度	減免	6年間で1,380万円を減免	一般A 成績上位10名	無	ー
	埼玉県医師育成奨学金制度	貸与	月額20万円（6年総額1,440万円）	10名（予定）	無	有
	千葉県医師修学資金貸付制度	貸与	月額20万円（6年総額1,440万円）	5名（予定）	無	有
	静岡県医学修学研修資金制度	貸与	月額20万円（6年総額1,440万円）	5名（予定）	無	有
	東京都地域医療医師奨学金（特別貸与奨学金）	貸与	6年総額2,800万円（修学費：6年総額2,080万円、生活費：6年総額720万円）	10名（予定）	有	有
	茨城県地域医療医師修学資金貸与制度	貸与	月額25万円（6年総額1,800万円）	2名（予定）	無	有
	新潟県医師養成修学資金貸与制度	貸与	月額30万円（6年総額2,160万円）	1名（予定）	無	有
帝京大学	帝京大学地域医療医師確保奨学金	貸与	初年度：年額546万円、2年次以降：年額210万円	4名程度	無	有
	福島県地域医療医師確保修学資金	貸与	月額23.5万円（予定）＋入学一時金（100万円上限）	2名	無	有
	千葉県医師修学資金貸付制度	貸与	月額20万円	2名	無	有
	茨城県地域医療医師修学資金貸与制度	貸与	月額25万円	1名	有	有
	静岡県医学修学研修資金	貸与	月額20万円	2名	無	有

大学名	名称	分類	金額	募集人員	応募資格の制限 ※1	返還免除の有無 ※2
日本医科大学	東京都地域医療医師奨学金（特別貸与奨学金）	貸与	6年総額2,920万円（修学費：6年総額2,200万円、生活費：6年総額720万円）	5名	有	有
	茨城県地域医療医師修学資金貸与制度	貸与	月額25万円（予定）	2名	有	有
	千葉県医師修学資金貸付制度	貸与	月額20万円（6年総額1,440万円）	他大学と合わせて9名（予定）、一般（地域枠）7名	無	有
	静岡県医学修学研修資金制度	貸与	月額20万円（6年総額1,440万円）	一般（地域枠）4名、大学特別枠・原則1年生より	無	有
北里大学	医学部特待生制度（入学時特待生）（2022年度）	減免	第1種：6年間の学費全額を免除（3,890万円） 第2種：入学金、授業料一部免除（6年総額1,945万円）	若干名	無	ー
	相模原市地域医療医師修学資金貸付制度	貸与	6年総額3,890万円	2名（2022年度）	無	有
東海大学	医学部医学科特別貸与奨学金	貸与	年額200万円（6年総額1,200万円）	9名	無	有
金沢医科大学	金沢医科大学医学部特別奨学金貸与制度	貸与	年額330万円（6年総額1,980万円）	約1名	有	有
	金沢医科大学医学部特待生制度	減免	初年度学納金450万円を免除（授業料：165万円、設備更新費：85万円、教育充実費：200万円）	10名	無	ー
愛知医科大学	愛知医科大学奨学金貸与制度	貸与	年額300万円（貸与決定の年度から卒業年度まで）	5名（2022年度）	無	有
	愛知県地域特別枠修学資金制度	貸与	6年総額2,010万円（［愛知県］初年度：月額17.5万円、2学年以降：月額15万円、［本学］初年度：年額450万円、2～6学年次：450万円（月額7.5万円））	A・B方式各約5名	有	有
大阪医科薬科大学	大阪府地域医療確保修学資金貸与制度（2022年度）	貸与	6年総額1,920万円（［大阪府］月額10万円、［本学］年額200万円）	2名	無	有
	学費減免制度（至誠仁術専願制）	減免	6 年間で 806.5 万円を減免	3名	無	ー
近畿大学	静岡県医学修学研修資金	貸与	月額20万円（6年総額1,440万円）	10名（一般前6、一般後4）	無	有
	奈良県緊急医師確保修学資金制度	貸与	月額20万円（6年総額1,440万円）、入学金100万円	2名	無	有
	和歌山県地域医師確保修学資金	貸与	月額20万円（6年総額1,440万円）	2名	無	有
兵庫医科大学	兵庫医科大学兵庫県推薦入学制度	貸与	6年総額4,480万円（［納付金］初年度：年額850万円、2年次以降：年額570万円、［生活費］年額130万円）（2022年度）	3名（予定）	無	有
川崎医科大学（2022年度）	静岡県医学修学研修資金貸与制度	貸与	月額20万円（6年総額1,440万円）	10名（予定）	無	有
産業医科大学	産業医科大学修学資金貸与制度	貸与	6年総額約1,919万円（入学金：71.8万円、授業料：年額約257.9万円、実習費：年額50万円）	全員	無	有

©2006-2022 Medical Lab

コロナ禍の「2023年度 医学部入試」の動向

④面接・小論文試験の比重が上がる？

大学入試改革について

©2006-2022 Medical Lab

©2006-2022 Medical Lab

コロナ禍の「2023年度 医学部入試」の動向

① 医学部志願者が増える？

② 試験問題が難化する？

- ■大学入学共通テストの難化？
- ■個別試験
  ＊「思考力」「判断力」「表現力」を重視した出題が増える？

③ 都市部から地方へ医学部志願者が流出する？

- ■地域枠の拡充
- ■新型コロナウイルスへの慣れ？地方への医学部志願者の流出

④ 面接・小論文試験の比重が上がる？

「主体性」等の評価、「思考力・判断力・表現力」の評価
コロナ禍を踏まえて医師になる覚悟を問われる

©2006-2022 Medical Lab

志願者動向に影響する要因

©2006-2022 Medical Lab

志願者動向に影響する要因

影響を与える要因	該当大学区分
① 試験科目・配点の変更	国公立大・私立大
② 入学定員の増減	国公立大・私立大
③ 試験日の重複	私立大
④ 共通テストの平均点	国公立大
⑤ 第1段階選抜予告枠	国公立大
⑥ 隔年現象・反動現象	国公立大
⑦ 難易度予想	国公立大・私立大
⑧ 学費の変更	私立大

©2006-2022 Medical Lab

国公立大医学部　主な入試変更点

©2006-2022 Medical Lab

2023年度　主な入試変更点（募集人員）[国公立大]

大学名	区分	項目	2023年度	2022年度
北海道大学	前期	募集人員	85名	92名
東京医科歯科大学	前期	募集人員	69名	79名
名古屋大学	前期・後期	募集人員	前期：一般枠85名、地域枠5名 後期：一般枠5名	前期：一般枠90名 後期：地域枠5名
大阪大学	前期	募集人員	92名	95名
九州大学	前期	募集人員	105名	110名
長崎大学	前期	募集人員	71名	76名
岐阜大学	前期・後期	募集人員	前期：55名 後期：廃止	前期：45名 後期：10名
鹿児島大学	後期	募集人員	21名	23名

※2022/9/27現在。今後、変更される場合があります。

©2006-2022 Medical Lab

2023年度　主な入試変更点（地域枠）[国公立大]

大学名	区分	項目	2023年度	2022年度
東京医科歯科大学	地域特別枠 推薦	募集区分 募集人員	茨城県（茨城県内2名・全国3名） 長野県（全国5名） 埼玉県（全国5名）	茨城県（茨城県内2名） 長野県（全国2名）
新潟大学	学校推薦型	募集人員	一般枠：20名 地域枠：県内22名、全国18名	一般枠：20名 地域枠：県内22名、全国11名
横浜市立大学	特別公募制 学校推薦型 （県外）	募集人員	地域医療枠：6名 神奈川県指定診療科枠：1名	地域医療枠：5名 神奈川県指定診療科枠：1名
和歌山県立医科大学	学校推薦型	募集区分 募集人員	一般枠：6名（県内） 県民医療枠A：5名（全国） 県民医療枠B：3名（全国）「産科」 地域医療枠：10名（県内）	一般枠：6名（県内） 県民医療枠：5名（全国） 地域医療枠：10名（県内）
	前期	募集区分 募集人員	一般枠：64名（全国） 県民医療枠A：10名（全国） 県民医療枠C：2名（全国）「産科・小児科・精神科」	一般枠：64名（全国） 県民医療枠：15名（全国）
山口大学	学校推薦型 （特別枠）	募集区分 募集人員	緊急医師確保対策枠：5名 地域医療再生枠：10名 重点医師確保対策枠：2名	緊急医師確保対策枠：5名 地域医療再生枠：10名

※2022/9/27現在。今後、変更される場合があります。

©2006-2022 Medical Lab

2023年度　主な入試変更点（選抜方法）[国公立大]

大学名	区分	項目	2023年度	2022年度
広島大学	前期	選抜方法	**〔A(s)配点（理科重視型）〕** 数学300点，理科1200点，英語300点 **〔A(em)配点（英数重視型）〕** 数学800点，理科200点，英語800点 **〔B配点（一般型）〕** 数学600点，理科600点，英語600点	**〔A配点（理科重視型）〕** 数学300点，理科1200点，英語300点 **〔B配点（一般型）〕** 数学600点，理科600点，英語600点
			(1)「A(s)配点」の上位から募集人員の1/2または「A(em)配点」の上位から募集人員の1/2に該当する者を合格とする。 (2) (1)の合格者を除く「B配点」の上位から残りの合格者を決定する。	まず「A配点」を用いて募集人員の1/2（募集人員が奇数の場合は端数を切り上げした人数）の合格者を決定し，次に「B配点」を用いて残りの合格者を決定する。
		提出書類	履歴書（指定様式）	ー

※2022/9/27現在。今後、変更される場合があります。

©2006-2022 Medical Lab

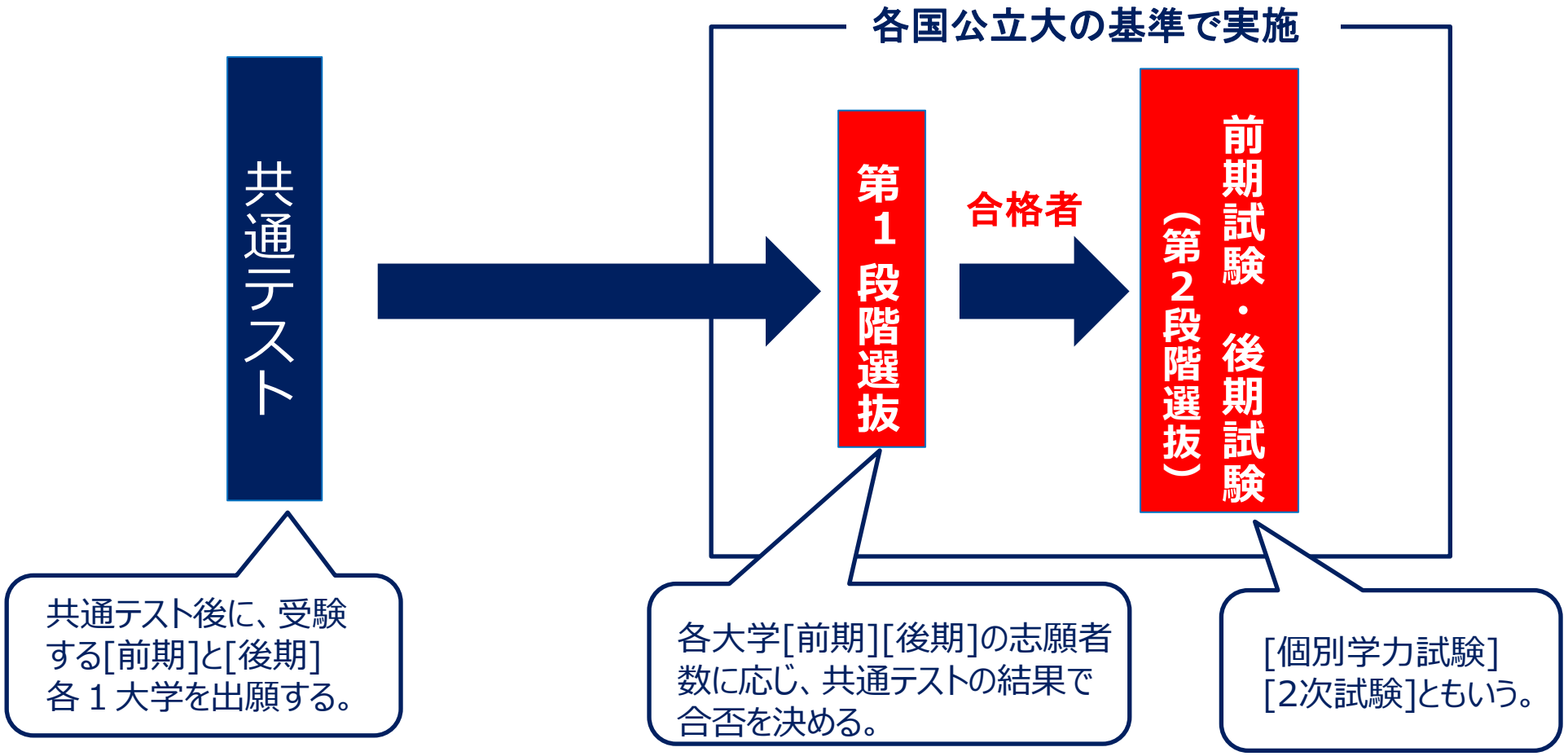
志願者動向に影響する要因

国公立大医学部　2段階選抜

©2006-2022 Medical Lab

第1段階選抜と第2段階選抜

国公立大学では、募集定員に対して志願者が第1段階選抜基準を上回った場合に、
前期試験や後期試験の前に、**共通テストの成績結果により受験者を選抜**すること。



©2006-2022 Medical Lab

第１段階選抜　2022年度 福井大学の例

2022年度入試　　定員：前期55名

第１段階選抜基準：前期は志願者が**定員の約5倍** を超えた場合に実施とは？

→ **定員55名×約5倍＝約275名** が、**前期試験を受験**できる。

結果は・・・

2022年度の**志願者は、370名 で、275名** を超えたので、 **第１段階選抜**を実施。

370名―275名＝95名 は、前期試験を受験できなかった。

©2006-2022 Medical Lab

東海地区　国公立大学医学部　第1段階通過ライン予測【前期日程】

河合塾　共通テストリサーチ結果より

大学名	募集人員	一次選抜予告基準	2022年度志願者			過年度志願者倍率	
			志願者数	志願者倍率	第1段階推定得点率	21年	20年
名古屋大学	90	700/900以上	150	1.7	78%	3.8	3.3
名古屋市立大学	60	390/550以上	164	2.7	71%	3.5 (73%)	2.8 (75%)
岐阜大学	45	約15倍	466	10.4	実施せず	9.6	11.1
三重大学	75	5倍	390	5.2	60%	5.3 (59%)	4.0
浜松医科大学	75	4倍	265	3.5	実施せず	4.4 (69%)	5.2 (75%)

©2006-2022 Medical Lab

2023年度　主な入試変更点（2段階選抜）[国公立大]

大学名	区分	項目	2023年度	2022年度
東京大学	前期	2段階選抜	3倍	3.5倍
東京医科歯科大学	地域特別枠推薦	2段階選抜	2倍	4倍
岐阜大学	前期	2段階選抜	約9倍	約15倍
名古屋大学	前期	2段階選抜	共通テスト900点満点中600点以上	共通テスト900点満点中700点以上
和歌山県立医科大学	前期	2段階選抜	共通テスト900点満点中630点以上 かつ約3.4倍	約3.3倍
岡山大学	前期	2段階選抜	3倍（通過予定人数：285名）	4倍（通過予定人数：392名）
広島大学	前期	2段階選抜	5倍（通過予定人数：450名）	7倍（通過予定人数：630名）
佐賀大学	学校推薦型Ⅱ	2段階選抜	一般枠・佐賀県枠：5倍（書類選考） 長崎県枠：10倍（書類選考）	実施なし

※2022/9/27現在。今後、変更される場合があります。

©2006-2022 Medical Lab

国公立大学の前期の２段階選抜の有無と実施基準

(2023年度用全国医学部最新受験情報　P40～41より)

大学名	区分	2023年度	2022年度		2021年度	
		実施基準(予告)	実施基準(予告)	実施結果	実施基準(予告)	実施結果
旭川医科大学	前期	５倍程度	５倍程度	実施せず	５倍程度	実施
	後期	５倍程度	５倍程度	実施	５倍程度	実施
北海道大学	前期	3.5倍	3.5倍	実施せず	3.5倍	実施せず
弘前大学	前期	８倍	８倍	実施せず	８倍	実施せず
東北大学	前期	約３倍	約３倍	3.1倍で実施	約３倍	3.2倍で実施
秋田大学	前期	５倍	５倍	実施せず	５倍	実施せず
	後期	10倍	10倍	実施	10倍	実施
山形大学	前期	約５倍	約５倍	実施せず	約５倍	実施せず
	後期	約10倍	約10倍	実施せず	約10倍	実施せず
筑波大学	前期	約2.5倍(地域枠では実施せず)	約2.5倍(地域枠では実施せず)	実施	約2.5倍(地域枠では実施せず)	実施
群馬大学	前期	3倍／一般枠で189名程度、地域医療枠で24名程度を合格者とする。	3倍／一般枠で189名程度、地域医療枠で24名程度を合格者とする。	実施	一般枠で189名程度、地域医療枠で24名程度を合格者とする。ただし、募集人員の約3倍を超えた場合のみ、実施することがある。	実施せず
千葉大学	前期	３倍	３倍	実施	３倍	実施
	後期	７倍	７倍	実施	７倍	実施
東京大学	前期	約3.0倍	約3.5倍	実施	約3.5倍	実施
東京医科歯科大学	前期	約４倍	約４倍	実施せず	約４倍	実施せず
	後期	約12倍	約12倍	実施	約12倍	実施
新潟大学	前期	４倍	４倍	実施せず	４倍	実施せず
富山大学	前期	約５倍	約５倍	実施せず	約５倍	実施せず
					約15倍	実施せず
金沢大学	前期	３倍程度	３倍程度	実施せず	３倍程度	実施
福井大学	前期	約５倍	約５倍	実施	約５倍	実施せず
	後期	約７倍	約７倍	実施	約７倍	実施
山梨大学	後期	約10倍	約10倍	実施	約10倍	実施
信州大学	前期	４倍	４倍	実施せず	４倍	実施
岐阜大学	前期	約９倍	約15倍	実施せず	約15倍	実施せず
			約15倍	実施	約15倍	実施
浜松医科大学	前期	４倍	４倍	実施せず	４倍	実施
	後期	10倍	10倍	実施せず	10倍	実施
名古屋大学	前期	900点満点中600点以上	900点満点中700点以上	実施	実施せず	—
	後期	約12倍	約12倍	実施せず	12倍(上位60名程度)	実施せず
三重大学	前期	５倍	５倍	実施	５倍	実施
	後期	10倍	10倍	実施	10倍	実施
滋賀医科大学	前期	約４倍	約４倍	実施	約４倍	実施せず

大学名	区分	2023年度	2022年度		2021年度	
		実施基準(予告)	実施基準(予告)	実施結果	実施基準(予告)	実施結果
京都大学	前期	900点満点中630点以上から約3倍	900点満点中630点以上から約3倍	実施	約３倍	実施
大阪大学	前期	900点満点中630点以上から約3倍	900点満点中630点以上から約3倍	実施せず	900点満点中630点以上から約3倍	実施
神戸大学	前期	約３倍	約３倍	実施せず	約３倍	実施せず
鳥取大学	前期	900点満点中600点以上	900点満点中600点以上	実施	900点満点中600点以上	実施
島根大学	前期	約８倍	約８倍	実施せず	約８倍	実施せず
岡山大学	前期	約３倍	約４倍	実施	約４倍	実施せず
広島大学	前期	約５倍	７倍	実施せず	７倍	実施せず
山口大学	前期	７倍	７倍	実施せず	７倍	実施せず
	後期	15倍	15倍	実施	15倍	実施
徳島大学	前期	900点満点中600点以上	900点満点中600点以上	実施	900点満点中600点以上	実施
香川大学	前期	約４倍	約４倍	実施	約４倍	実施せず
愛媛大学	前期	約６倍	約６倍	実施せず	約６倍	実施
高知大学	前期	４倍	４倍	実施せず	４倍	実施
九州大学	前期	約2.5倍	約2.5倍	実施	約2.5倍	実施せず
佐賀大学	前期	約５倍	約５倍	実施せず	約５倍	実施せず
	後期	約10倍	約10倍	実施	約10倍	実施
長崎大学	前期	約５倍	約５倍	実施	約５倍	実施
熊本大学	前期	約４倍	約４倍	実施	約４倍	実施せず
大分大学	前期	約３倍	約３倍	実施	約３倍	実施せず
宮崎大学	前期	約６倍	約６倍	実施せず	約６倍	実施せず
	後期	約14倍	約14倍	実施	約10倍	実施
鹿児島大学	前期	約５倍	約５倍	実施せず	約５倍	実施せず
	後期	約８倍	約８倍	実施	約８倍	実施
琉球大学	前期	約５倍	約５倍	実施せず	約５倍	実施せず
	後期	約10倍	約10倍	実施	約10倍	実施
札幌医科大学	前期	５倍	５倍	実施せず	５倍	実施せず
福島県立医科大学	前期	約４倍	約４倍	実施	約４倍	実施
横浜市立大学	前期	1000点満点中750点以上から約3倍	1000点満点中750点以上から約3倍	実施	1000点満点中750点以上から約3倍	実施
名古屋市立大学	前期	550点満点中約71%以上から約3倍	550点満点中約71%以上	実施	500点満点中75%以上で実施	実施
京都府立医科大学	前期	約３倍	約３倍	実施せず	約３倍	実施せず
大阪公立大学	前期	900点満点中650点以上	900点満点中650点以上	実施	900点満点中650点以上	実施
奈良県立医科大学	前期	15倍	15倍	実施せず	15倍	実施せず
	後期	14倍	14倍	実施	14倍	実施
和歌山県立医科大学	前期	900点満点中630点以上から約3.4倍	約3.3倍	実施	約3.3倍	実施せず

©2006-2022 Medical Lab

志願者動向に影響する要因

国公立大医学部　反動現象・隔年現象

©2006-2022 Medical Lab

全国の国公立大 医学部　志願者の変動が大きかった大学　【 前期日程 】

大学名	志願者数			2022/2021	
	2020年度	2021年度	2022年度	増減数	前年比
旭川医科大学	279	279	178	-101	64%
弘前大学	352	264	372	+108	141%
山形大学	270	241	386	+145	160%
群馬大学	202	188	318	+130	169%
福井大学	261	193	370	+177	192%

※メディカルラボ調べ

©2006-2022 Medical Lab

全国の国公立大 医学部　志願者の変動が大きかった大学　【 前期日程 】

大学名	志願者数			2022/2021	
	2020年度	2021年度	2022年度	増減数	前年比
岐阜大学	410	357	466	+109	131%
名古屋大学	295	345	150	-195	43%
滋賀医科大学	243	250	405	+155	162%
大阪公立大学	205	225	153	-72	68%
鳥取大学	386	359	214	-145	60%

※メディカルラボ調べ

©2006-2022 Medical Lab

全国の国公立大 医学部　志願者の変動が大きかった大学　【 前期日程 】

大学名	志願者数			2022/2021	
	2020年度	2021年度	2022年度	増減数	前年比
岡山大学	377	359	540	+181	150%
山口大学	309	306	214	-92	70%
香川大学	287	382	520	+138	136%
熊本大学	487	332	447	+115	135%
大分大学	285	178	253	+75	142%

※メディカルラボ調べ

©2006-2022 Medical Lab

志願者動向に影響する要因

私立大医学部　試験日の重複

【医学部入試のスケジュール】

©2006-2022 Medical Lab

2023年度　医学部 一般選抜　試験日カレンダー　[私立大は１次試験のみ]

	月	火	水	木	金	土	日
1月	9	10	11	12	13	14	15
						共通テスト 1日目	共通テスト 2日目
	16	17	18	19	20	21	22
	共通テスト 自己採点		岩手医科 国際医療福祉	藤田医科(前)	杏林	東北医科薬科	川崎医科
	23	24	25	26	27	28	29
	自治医科[学]	自治医科[面①] 聖マリアンナ医科(前) 愛知医科	兵庫医科(A/B)	帝京①	帝京② 北里	獨協医科① 帝京③ 関西医科(前)	獨協医科② 近畿(前)
2月	1/30	1/31	2/1	2	3	4	5
	金沢医科(前①)	自治医科[面②] 埼玉医科(前) 金沢医科(前②)	東京女子医科 日本(N1) 久留米(前)	日本医科(前) 東海① 福岡	順天堂(A/B) 東海②	昭和(Ⅰ)	
	6	7	8	9	10	11	12
		東邦	東京医科	東京慈恵会医科	大阪医科薬科(前)		産業医科(学)
	13	14	15	16	17	18	19
							慶應義塾
	20	21	22	23	24	25	26
						国公立大前期	国公立大前期 近畿(後)

※産業医科大は２次試験　　※自治医科大の1次面接試験は、1/24または1/31のどちらかを受験

©2006-2022 Medical Lab

2023年度　医学部 一般選抜　試験日カレンダー　[私立大は１次試験のみ]

	月	火	水	木	金	土	日
3月	2/27	2/28	3/1	2	3	4	5
	（国公立大前期）		日本医科(後) 金沢医科(後)	聖マリアンナ医科(後) 藤田医科(後)		埼玉医科(後) 昭和大(Ⅱ) 日本(N２) 関西医科(後)	
	6	7	8	9	10	11	12
			久留米(後)		大阪医科薬科(後)		国公立大後期 産業医科(小・面)
	13	14	15	16	17	18	19
	国公立大後期						
	20	21	22	23	24	25	26

※ 獨協医科大・帝京大・東海大・金沢医科大[前]の①②(③)は、いずれか希望の１日、もしくは複数日の受験可
※ 日本大学N全学統一方式：同一試験日、同一問題で複数の学部（学科）を併願することのできる入学試験

（2023年度用全国医学部最新受験情報より抜粋）

©2006-2022 Medical Lab

2023年度　私立大学医学部 入試日の重複の変動

■1次試験の重複大学数が減少した大学

●前期・Ⅰ期
自治医科大学〔学〕（２⇒単）、兵庫医科大学〔A/B〕（３⇒単）、帝京大学①（２⇒単）、
帝京大学②（３⇒２）、金沢医科大学①（３⇒単）、東京女子医科大学（４⇒３）、
日本医科大学（４⇒３）、東海大学①（４⇒３）、東海大学②（３⇒２）、福岡大学（４⇒３）、
順天堂大学〔A/B〕（3⇒２）、昭和大学（２⇒単）、東邦大学（３⇒単）

●後期・Ⅱ期
近畿大学（２⇒単）、日本医科大学（３⇒２）、藤田医科大学（３⇒２）

■1次試験の重複大学数が増加した大学

●前期・Ⅰ期
愛知医科大学（単⇒３）、獨協医科大学①（単⇒３）、関西医科大学（２⇒３）、
埼玉医科大学（単⇒３）、金沢医科大学②（２⇒３）

●後期・Ⅱ期
聖マリアンナ医科大学（単⇒２）、埼玉医科大学（２⇒４）、昭和大学（２⇒４）、
日本大学（２⇒４）、関西医科大学（２⇒４）

©2006-2022 Medical Lab

2023年度　私立大学医学部　後期試験日程

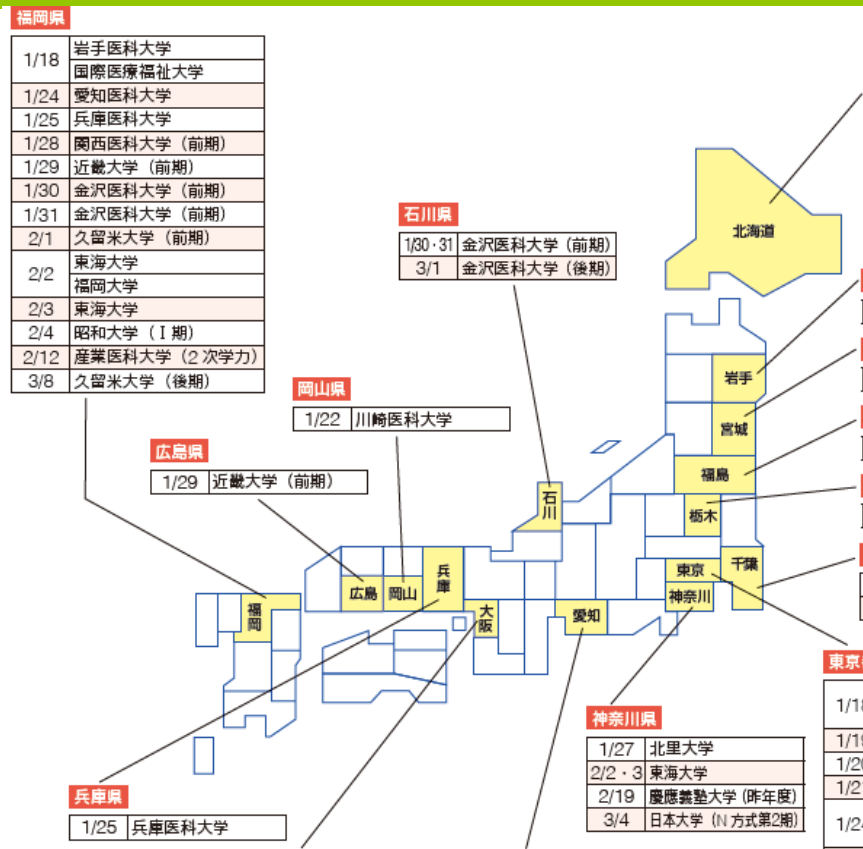
「2023年度用 全国医学部最新受験情報 P８～P９より」

大学名	出願期間	試験日		募集人員
埼玉医科大学	2/1～2/21	1次	3/4	20※1
		2次	3/12	
昭和大学（Ⅱ期）	2/1～2/17	1次	3/4	18
		2次	3/11	
日本大学（N2期）	1/5～2/24	1次	3/4	15
		2次	3/17	
日本医科大学	2/1～2/21	1次	3/1	23※4
		2次	3/10	
聖マリアンナ医科大学	2/6～2/20	1次	3/2	約10
		2次	3/10	
金沢医科大学	1/16～2/17	1次	3/1	10
		2次	3/8	
藤田医科大学	1/24～2/24	1次	3/2	10※6
		2次	3/13	
大阪医科薬科大学	12/12～2/27	1次	3/10	15
		2次	3/17	
関西医科大学	2/1～2/16	1次	3/4	計5※8
		2次	3/14	
近畿大学	2/1～2/14	1次	2/26	5
		2次	3/9	
久留米大学	2/6～2/24	1次	3/8	約5
		2次	3/16	

万が一を考えて、私立大医学部は
『後期試験』も視野に入れて、早めに受験スケジュールを考える！

©2006-2022 Medical Lab

2023年度　県別･一般入試の1次試験を実施する大学　[私立大学]



福岡県

1/18	岩手医科大学
	国際医療福祉大学
1/24	愛知医科大学
1/25	兵庫医科大学
1/28	関西医科大学（前期）
1/29	近畿大学（前期）
1/30	金沢医科大学（前期）
1/31	金沢医科大学（前期）
2/1	久留米大学（前期）
2/2	東海大学
	福岡大学
2/3	東海大学
2/4	昭和大学（Ⅰ期）
2/12	産業医科大学（2次学力）
3/8	久留米大学（後期）

北海道

1/18	岩手医科大学
1/21	東北医科薬科大学

石川県

1/30･31	金沢医科大学（前期）
3/1	金沢医科大学（後期）

岩手県

1/18	岩手医科大学

宮城県

1/21	東北医科薬科大学

岡山県

1/22	川崎医科大学

福島県

3/4	日本大学（N方式第2期）

広島県

1/29	近畿大学（前期）

栃木県

1/28･29	獨協医科大学

千葉県

1/18	国際医療福祉大学
2/3	順天堂大学

兵庫県

1/25	兵庫医科大学

神奈川県

1/27	北里大学
2/2･3	東海大学
2/19	慶應義塾大学（昨年度）
3/4	日本大学（N方式第2期）

東京都

1/18	岩手医科大学
	国際医療福祉大学
1/19	藤田医科大学（前期）
1/20	杏林大学
1/21	東北医科薬科大学
1/24	聖マリアンナ医科大学（前期）
	愛知医科大学
1/25	兵庫医科大学
1/26	帝京大学
1/27	北里大学
	帝京大学
1/28	獨協医科大学
	関西医科大学（前期）
	帝京大学
1/29	獨協医科大学
	近畿大学（前期）
1/30	金沢医科大学（前期）
1/31	埼玉医科大学（前期）
	金沢医科大学（前期）
2/1	久留米大学（前期）
	東京女子医科大学
2/2	日本医科大学（前期）
	東海大学
	福岡大学
2/3	東海大学
2/4	昭和大学（Ⅰ期）
2/7	東邦大学
2/8	東京医科大学
2/9	東京慈恵会医科大学
2/10	大阪医科薬科大学（前期）
2/12	産業医科大学（2次学力）
2/26	近畿大学（後期）
3/1	日本医科大学（後期）
	金沢医科大学（後期）
3/2	聖マリアンナ医科大学（後期）
	藤田医科大学（後期）
3/4	日本大学（N方式第2期）
	昭和大学（Ⅱ期）
	埼玉医科大学（後期）
3/10	大阪医科薬科大学（後期）

※大阪医科薬科大学：後期日程は、名古屋会場を廃止

大阪府

1/18	岩手医科大学
	国際医療福祉大学
1/19	藤田医科大学（前期）
1/21	東北医科薬科大学
1/24	愛知医科大学
1/28	関西医科大学（前期）
1/29	近畿大学（前期）
1/30	金沢医科大学（前期）
1/31	金沢医科大学（前期）
2/2	東海大学
	福岡大学
2/3	東海大学
2/4	昭和大学（Ⅰ期）
2/10	大阪医科薬科大学（前期）
2/26	近畿大学（後期）
3/1	金沢医科大学（後期）
3/4	関西医科大学（後期）
3/10	大阪医科薬科大学（後期）

愛知県

1/18	岩手医科大学
1/19	藤田医科大学（前期）
1/24	愛知医科大学
1/28	関西医科大学（前期）
1/29	近畿大学（前期）
1/30	金沢医科大学（前期）
1/31	金沢医科大学（前期）
2/2	東海大学
	福岡大学
2/3	東海大学
2/10	大阪医科薬科大学（前期）
3/2	藤田医科大学（後期）

(2023年度用全国医学部最新受験情報　P11より抜粋)

©2006-2022 Medical Lab

2023年度　東京の試験会場

(2023年度用全国医学部最新受験情報P12～P13より)

©2006-2022 Medical Lab

私立大医学部　主な入試変更点

©2006-2022 Medical Lab

2023年度　主な入試変更点　[私立大]

大学名	区分	項目	2023年度	2022年度
杏林大学	共通テスト	入試日程	大学入学共通テスト利用選抜	大学入学共通テスト利用選抜〔前期日程〕， 大学入学共通テスト利用選抜〔後期日程〕
昭和大学	一般〔Ⅰ期〕	出願要件	医学部一般選抜〔Ⅰ期〕利用の **薬学部併願**入試を実施	医学部一般選抜〔Ⅰ期〕利用の **歯学部・薬学部併願**入試を実施
	一般〔Ⅱ期〕	2次科目	面接	小論文，面接
		2次配点	400点（英語50点，数学50点，理科100点〔50点×2〕，**面接200点**）	500点（英語100点，数学100点，理科200点〔100点×2〕，小論文30点，面接70点）
日本医科大学	一般〔新潟県地域枠〕	選抜方式	新規実施 ※詳細は募集要項を参照	－

※2022/9/20現在。今後、変更される場合があります。

©2006-2022 Medical Lab

2023年度　主な入試変更点　[私立大]

大学名	区分	項目	2023年度	2022年度
北里大学	一般 編入学	試験会場	1次：本学（相模原キャンパス），**東京会場**	1次：本学（相模原キャンパス）
東海大学	一般	1次科目	数学Ⅰ・数学Ⅱ・ 数学A・数学B（数列・ベクトル）	数学Ⅰ・数学Ⅱ・**数学Ⅲ**・ 数学A・数学B（数列・ベクトル）
金沢医科大学	一般 〔前期〕	選抜方法	第1次選抜：**各科目の素点を合否判定**に用いる	第1次選抜：各科目の得点を**標準偏差を用いて標準化**し，その相対得点を合否判定に用いる。
	一般〔前期〕 総合型〔AO入試〕	募集人員	**一般〔前期〕72名**， 総合型〔AO入試〕14名	一般〔前期〕65名， 総合型〔AO入試〕21名
藤田医科大学	一般 〔前期〕	募集人員	一般枠78名，地域枠5名	一般枠73名，地域枠5名
	一般 〔後期〕	募集人員	一般枠5名，地域枠5名	一般枠10名，地域枠5名
	共通テスト 〔後期〕	2次科目	総合問題，面接，**口頭試問** ※口頭試問は**総合問題の内容について問う。** 一部は英語で行い，英語の「聞く力」「話す力」も評価する。	総合問題，面接

※2022/9/20現在。今後、変更される場合があります。

©2006-2022 Medical Lab

2023年度　主な入試変更点　[私立大]

大学名	区分	項目	2023年度	2022年度
大阪医科薬科大学	一般 〔後期〕	試験会場	大阪（関西大学 千里山キャンパス）， 東京	大阪（本学 阿武山キャンパス）， **名古屋（AP名古屋）**， 東京
	全ての区分	学費	一般･共通テスト利用･「至誠仁術」入試(併願)：**2,841万円** 大阪府地域枠(専願)：921万円 「至誠仁術」入試(専願)：2,034.5万円	一般･共通テスト利用･「至誠仁術」入試(併願)：**3,141万円** 大阪府地域枠(専願)：1,221万円 「至誠仁術」入試(専願)：2,184.5万円
関西医科大学	一般	1次科目	英語･数学･理科2科目	英語，数学，理科2科目，小論文（評価は第2次試験合否判定時に使用）
	全ての区分	学費	**2,100万円**	**2,770万円**
産業医科大学	一般	出願期間	**共通テスト実施前に締切** （2023/1/13(金)まで） ※共通テスト日程（2023/1/14･15）	共通テスト実施後に締切 （2022/1/22(土)まで） ※共通テスト日程（2022/1/16･17）

※2022/9/20現在。今後、変更される場合があります。

©2006-2022 Medical Lab

志願者動向に影響する要因

2023年度　医学部難易度予想

❶　国公立大医学部　共通テストボーダーライン

©2006-2022 Medical Lab

2023年度入試の動向　難易度予想　　[国公立大　一般選抜・前期共通テスト]

得点率	河合塾 ボーダーライン　[合格可能性50%]
91%	東京大（±0）
86%	東京医科歯科大（－4）、京都大（－4）
85%	千葉大[一般/地域]（－3）、横浜市立大[一般/地域/指定診療]（－3）、大阪大（－3）
82%	北海道大（－4）、東北大（－4）、筑波大[一般/地域全国/地域]（－4）、 名古屋大[一般/地域]（－5）、神戸大（－5）、九州大（－4）
81%	大阪公立大（－5）、岡山大（－5）
80%	大阪公立大[指定医療]（－6）、広島大（－5）
79%	名古屋市立大（－5）、京都府立医科大（－3）

※ 河合塾　Kei-Net「入試難易度ランキング表(9月現在)」より抜粋。
※「地域枠」等のボーダーライン設定がある場合には、[　]の内の表記で区分を区別。

©2006-2022 Medical Lab

2022年度入試の動向　難易度予想　　[国公立大　一般選抜・前期共通テスト]

得点率	河合塾 ボーダーライン [合格可能性50%]
78%	滋賀医科大[一般/地域]（－4）、奈良県立医科大（－5）、 和歌山県立医科大[一般/県民A･C]（－4）、熊本大（－5）
77%	札幌医科大[一般]（－6）、札幌医科大[先進]（－5）、山形大（－5）、**新潟大（－8）**、金沢大（－6） 三重大[一般/地域]（－5）、島根大[一般/定着]（－5）、香川大[一般]（－5） 愛媛大（－5）、長崎大（－6）
76%	旭川医科大（－4）、弘前大[一般]（－6）、秋田大（－6）、山形大[地域]（－6）、 福島県立医科大[一般/地域]（－6）、**群馬大[一般/地域]（－7）**、**信州大（－7）**、 富山大（－6）、福井大（－6）、岐阜大（－6）、浜松医科大[一般/地域]（－6）、 鳥取大[一般/鳥取県/兵庫県/島根県]（－6）、**山口大（－7）**、**徳島大（－7）**、 香川大[地域]（－5）、高知大[一般]（－4）、佐賀大（－6）、**鹿児島大（－7）**
75%	**弘前大[定着]（－7）**、高知大[地域]（－5）、大分大[一般]（－6）、**宮崎大（－7）**
74%	**大分大[地元]（－7）**、**琉球大（－8）**

※ 河合塾　Kei-Net「入試難易度ランキング表(9月現在)」より抜粋。
※「地域枠」等のボーダーライン設定がある場合には、[　]の内の表記で区分を区別。

©2006-2022 Medical Lab

志願者動向に影響する要因

2023年度　医学部難易度予想

❷　国公立大医学部　全統記述模試ボーダーライン

©2006-2022 Medical Lab

2023年度入試の動向　難易度予想　　[国公立大　一般選抜・前期個別試験]

偏差値	全統記述模試 ボーダーライン [合格可能性50%]
72.5	東京大、京都大
70.0	東京医科歯科大、大阪大、山梨大[後期]
67.5	東北大、千葉大[一般/地域]、横浜市立大[一般/地域/地域/指定診療]、神戸大、 岡山大（+2.5）、九州大
65.0	北海道大、筑波大[一般/地域全国/地域茨城]、群馬大[一般/地域]、新潟大、金沢大、 福井大（+2.5）、信州大、浜松医科大[一般/地域]、名古屋大[一般/地域]（−2.5）、 名古屋市立大、三重大[一般/地域]、滋賀医科大[一般/地域]、京都府立医科大、 奈良県立医科大、和歌山県立医科大[一般/県民A・C]、大阪公立大[一般/指定]（−2.5） 島根大[一般/県内]、広島大、山口大、愛媛大、長崎大、熊本大
62.5	旭川医科大（−2.5）、秋田大、山形大[一般/地域]、福島県立医科大[一般/地域]、富山大、 岐阜大（−2.5）、鳥取大[一般/鳥取/兵庫/島根]（−2.5）、徳島大（−2.5）、 香川大[一般/地域]、高知大[一般/地域]、佐賀大（−2.5）、大分大[一般/地元]（−2.5）、 宮崎大（−2.5）、鹿児島大（−2.5）、琉球大（−2.5）
60.0	札幌医科大[一般/先進]（−2.5）

※ 河合塾　Kei-Net「入試難易度ランキング表(9月現在)」より抜粋。
※「地域枠」等のボーダーライン設定がある場合には、[　]の内の表記で区分を区別。

©2006-2022 Medical Lab

志願者動向に影響する要因

2023年度　医学部難易度予想

❸　私立大医学部　全統記述模試ボーダーライン

©2006-2022 Medical Lab

2023年度入試の動向　難易度予想　　[私立大　一般選抜･前期個別試験]

偏差値	河合塾 ボーダーライン [合格可能性50%]
72.5	慶應義塾大、**順天堂大[B]（+2.5）**
70.0	順天堂大[A/地域]、東京慈恵会医科大、日本医科大[前期/地域前期]
67.5	東北医科薬科大[A･B]、自治医科大、昭和大[一般/新潟/静岡/茨城]、**東海大（+2.5）**、 東京医科大、東邦大、日本大[N1]、大阪医科薬科大[一般/地域]、関西医科大、産業医科大
65.0	東北医科薬科大[一般]、国際医療福祉大、杏林大[一般/地域]、帝京大[一般/地域]、 金沢医科大[前期]、愛知医科大、藤田医科大[一般/地域]、近畿大[一般/地域] 兵庫医科大[A･B]、久留米大[前期]、福岡大
62.5	岩手医科大[一般]（−2.5）、獨協医科大[一般/地域]、埼玉医科大、北里大[一般/市地域]、 東京女子医科大（−2.5）、聖マリアンナ医科大
60.0	**岩手医科大[地域]（−5.0）**、川崎医科大[一般･地域]

※ 河合塾　Kei-Net「入試難易度ランキング表(9月現在)」より抜粋。
※「地域枠」等のボーダーライン設定がある場合には、[　]の内の表記で区分を区別。

©2006-2022 Medical Lab

2023年度　医学部難易度予想

❹　私立大医学部　共通テスト利用ボーダーライン

©2006-2022 Medical Lab

2023年度入試の動向　難易度予想　　[私立大　共通テスト利用]

得点率	河合塾　ボーダーライン [合格可能性50%]
86%	順天堂大[前期/5-7]（－5）、帝京大[2～3-3]（－6）
85%	順天堂大[地域/5-7]（新規）、日本医科大[一般後期併用/1-1]（新規）
84%	近畿大[中期/3-4]（－4）
83%	**東北医科薬科大[4-6]（－2）**、順天堂大[一般独自併用/5-7]（－6）、 関西医科大[前期/5-7]（－４）
82%	国際医療福祉大[5-7]（－5）、大阪医科薬科大[4-6]（－6）、 関西医科大[一般併用/5-7]（－5）、福岡大[4-6]（－6）
80%	**東京医科大[5-7]（－7）、近畿大[前期/3-5]（－7）**
79%	**東海大[一般/3-5]（－8）**
78%	**獨協医科大[一般、地域/3-5]（－8）、杏林大[3-5]（－8）、 藤田医科大[前期/4-6]（－９）**、産業医科大[5-6]（－５）
76%	**愛知医科大[前期/4-6]（－10）**
73%	**埼玉医科大[4-6]（－11）**
69%	**東海大[地域/3-5]（－18）**

※ 河合塾　Kei-Net「入試難易度ランキング表(9月現在)」より抜粋。　※「地域枠」等のボーダーライン設定がある場合には、[　]の内の表記で区分を区別。　※地域枠等など一部の募集区分は除く

2023年度　私立大 共通テスト利用のセンター試験科目

©2006-2022 Medical Lab

大学名	試験区分	募集人員	外国語			数学						理科					国語		地理歴史・公民							科目数	満点	教科・科目数	2次試験	
			英語	他言語の選択	科目数	数学Ⅰ	数学ⅠA	数学Ⅱ	数学ⅡB	他	科目数	化学	生物	物理	地学	科目数	国語	科目数	世界史	日本史	地理	現代社会	倫理	政治・経済	倫理、政治・経済				試験日	内容
東北医科薬科大学	大学入学共通テスト利用	5	●		1		●		●		2	◎	◎	◎		2	●※近	1									700	4・6	3/2	面接
			200				200						200				100												
獨協医科大学	大学入学共通テスト利用	10	●		1		●		●		2	◎	◎	◎		2											400	3・5	2/11か12	小論文、面接
			100				100						200																
埼玉医科大学	大学入学共通テスト利用	10	●		1		●		●		2	◎	◎	◎		2	●	1									550	4・6	3/12	小論文、面接
			150				100						200				100												
国際医療福祉大学	大学入学共通テスト利用	15	●		1		●		●		2	◎	◎	◎		2	●	1	B◎	B◎	B◎				◎	1※1	900	5・7	2/17　学力試験（英語）・小論文 2/21　面接	
			200				200						200				200				100								
杏林大学	大学入学共通テスト利用	15	●		1		●		●		2	◎	◎	◎		2											600	3・5	2/19	小論文、面接
			200				200						200																
順天堂大学	大学入学共通テスト・一般独自併用	12	●		1		●		●		2	◎	◎	◎		2	●	1	B◎	B◎	B◎	◎	◎	◎	◎	1※2	900	5・7	[1次試験]2/3　英語、理科 [2次試験]3/3　小論文・英作文　3/4　面接	
			200				200						200				200				100								
	前期大学入学共通テスト利用	10	●		1		●		●		2	◎	◎	◎		2	●	1	B◎	B◎	B◎	◎	◎	◎	◎	1※2	900	5・7	2/3 2/11～13※3	小論文 面接
			200				200						200				200				100								
	後期大学入学共通テスト利用	5	●		1		●		●		2	◎	◎	◎		2	●	1	B◎	B◎	B◎	◎	◎	◎	◎	1※2	900	5・7	3/3 3/4	小論文・英作文 面接
			200				200						200				200				100								
帝京大学	大学入学共通テスト利用※4	8	●		1	◎	◎	◎	◎		(1)	◎	◎	◎		(0～2)	◎※近※5	(1)									300	2～3・3	2/17	英語（長文読解）、課題作文、面接
			100				(100)						(100～200)				(100)												
東京医科大学	大学入学共通テスト利用	10以内	●		1		●		●		2	◎	◎	◎		2	●	1	AB◎	AB◎	AB◎	◎	◎	◎	◎	1※2	900	5・7	2/18	小論文、面接
			200				200						200				200				100								
日本医科大学	一般後期 大学入学共通テスト（国語）併用	10															●	1									200	1・1	1次3/1※6 2次3/10	英語、数学、理科 小論文、面接
																	200												
東海大学	神奈川県・静岡県地域枠	8※7	●		1		●		●		2	◎	◎	◎		2											600	3・5	2/11か12	小論文、面接
	大学入学共通テスト利用	10	200				200						200																
愛知医科大学	大学入学共通テスト利用前期	約15	●		1		●		●		2	◎	◎	◎		2	●※近	1									700	4・6	2/16	面接
			200				200						200				100												
	大学入学共通テスト利用後期	約5	●		1		●		●		2	◎	◎	◎		1※1	●	1	AB◎	AB◎	AB◎	◎	◎	◎	◎	1※1	800	5・6	3/10	面接
			200				200						100				200				100								
	愛知県地域特別枠（B方式）	約5	●		1		●		●		2	◎	◎	◎		2	●※近	1									700	4・6	3/10	面接
			200				200						200				100												
藤田医科大学	大学入学共通テスト利用前期	10	●		1		●		●		2	◎	◎	◎		2	●※近	1									700	4・6	2/15	面接・提出書類
			200				200						200				100												
	大学入学共通テスト利用後期	5	●		1		●		●		2	◎	◎	◎		2	●※近	1									700	4・6	3/13	総合問題・口頭試問、面接
			200				200						200				100												
大阪医科薬科大学	大学入学共通テスト利用	10	●		1		●		●		2	◎	◎	◎		2	●※近	1									700	4・6	2/28	小論文、面接
			200				200						200				100												
関西医科大学	大学入学共通テスト利用前期	12	●		1		●		●		2	◎	◎	◎		2	●※近	1	AB◎	AB◎	AB◎	◎	◎	◎	◎	1※1	800	5・7	2/18	面接
			200				200						200				100												
	大学入学共通テスト・一般併用	13	●		1		●		●		2	◎	◎	◎		2	●※近	1	AB◎	AB◎	AB◎	◎	◎	◎	◎	1※1	600	5・7	1次1/28※8 2次2/18	英語、数学、理科 面接
			100				100						200				100												
	大学入学共通テスト利用後期	計5※9	●		1		●		●		2	◎	◎	◎		2											600	3・5	3/14	面接
			200				200						200																
近畿大学	共通テスト利用方式・前期	5	●		1		●		●		2	◎	◎	◎		2											500	3・5	2/19	小論文、面接
			100				200						200																
	共通テスト利用方式・中期※10	3	●		1		◎				(1)※1	◎	◎	◎		2	◎※近	(1)※1									400	3・4	2/19	小論文、面接
			100				(100)						200				(100)												
	共通テスト利用方式・後期※11	2	●		1		◎				(1)	◎	◎	◎		(0～2)	◎※近	(1)									300	2～3・3	3/9	小論文、面接
			100				(100)						(100～200)				(100)												
産業医科大学	一般（大学入学共通テスト利用）	約80	◎	可	1※12		●		●		2	◎	◎	◎	◎	1※2	●	1	B◎	B◎	B◎	◎	◎	◎	◎	1※2	300	5・6	2/12	[2次学力検査]外国語、数学、理科
			60				60						60				60				60							3/12	[2次試験]小論文・面接
福岡大学	大学入学共通テスト利用（I期）	5	●		1※13		●		●		2	◎	◎	◎		2	●※近	1									700	4・6	2/14	面接、調査書
			200				200						200				100												

※「2023年度用　全国医学部最新受験情報」P8～P9より抜粋。

©2006-2022 Medical Lab

Ⅱ．医学部志願者の受験校選定について

©2006-2022 Medical Lab

偏差値と「医学部」合否の相関

偏差値帯 （第２・３回全統模試）	河合塾による追跡調査結果 (全統模試受験生)	メディカルラボ 在籍高3生
65.0以上	50.0%	90.9%
60.0以上～65.0未満	27.8%	89.5%
55.0以上～60.0未満	9.6%	57.1%
50.0以上～55.0未満	2.2%	37.5%
50.0未満	0.8%	34.5%

©2006-2022 Medical Lab

受験校決定のためのマッチング

©2006-2022 Medical Lab

受験校決定のためのマッチング

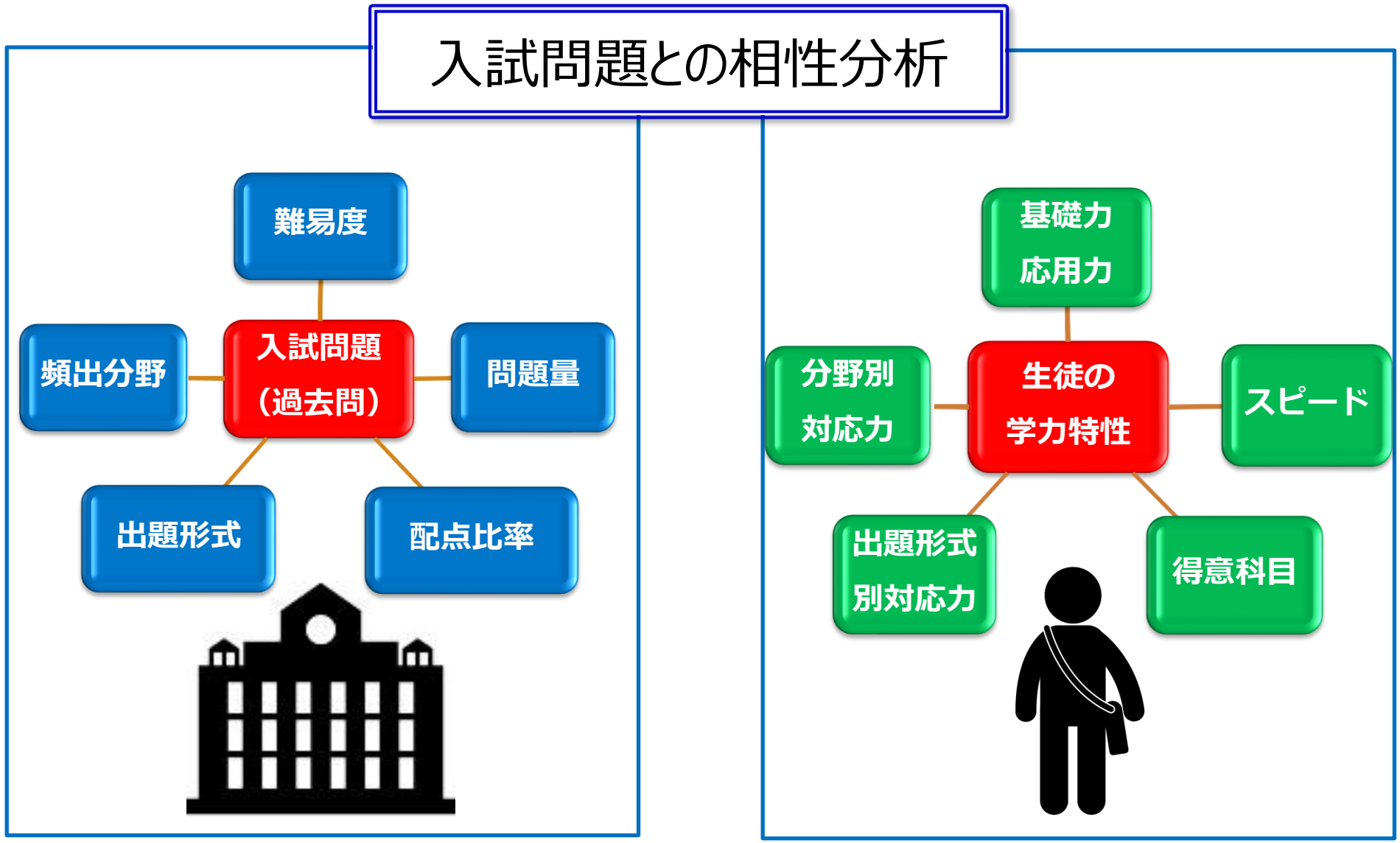
■自分に合った受験校の選定

◇自分の学力傾向を把握し、自分の学力傾向に合った
①配点比率　②出題傾向　の大学を受験校として選定する。

「大学の出題傾向」と「生徒の学力」とのマッチング

©2006-2022 Medical Lab

入試問題との相性分析【マッチング】による受験校選択



©2006-2022 Medical Lab

受験校決定のためのマッチング

Ⅰ. 生徒の傾向について

当てはまるものに○をしてください。

①スピード/かなり速い・速い・やや遅い・遅い

②判断力（必要な情報の選択）/かなり高い・高い・やや苦手・苦手

③思考力（情報分析力）の有無/かなり高い・高い・やや苦手・苦手

④表現力（答案作成力）/かなり得意・得意・やや苦手・苦手（マークのほうが良い）

⑤ケアレスミス/かなり多い・多い・やや少ない・少ない

⑥計算完答力/かなり高い・高い・やや低い・低い

Ⅱ.各分野の得意・不得意状況を教えてください。（対応レベルに数字の入力をお願いします　苦手：0　入試基礎：1　入試標準：2　入試応用：3　融合発展：4）

※大学別対策に入る前に未履修分野が残る可能性がある場合、必要授業コマ数をご記入ください。

	数Ⅰ					数A				数Ⅱ							数B			数Ⅲ					
単元名	数と式	集合と命題	二次関数	図形と計量	データの分析	整数の性質	図形の性質	場合の数	確率	図形と方程式	複素数と方程式	式と証明	三角関数	指数・対数	微分法	積分法	平面ベクトル	空間ベクトル	数列	複素数平面	平面上の曲線	関数	極限	微分法の応用	積分法の応用
対応レベル																									
未履修分野必要コマ数																									

©2006-2022 Medical Lab

受験校決定のためのマッチング

1位	愛知医科大学	□難易度 当てはまる箇所に○をつけてください 有利 ・ 妥当 ・ 対策次第	□問題量 当てはまる箇所に○をつけてください 有利 ・ 妥当 ・ 対策次第	□頻出分野 当てはまる箇所に○をつけてください 有利 ・ 妥当 ・ 対策次第	対策後の予想得点率 80%
		□出題形式 当てはまる箇所に○をつけてください 有利 ・ 妥当 ・ 対策次第	□配点比率 当てはまる箇所に○をつけてください 有利 ・ 妥当 ・ 対策次第	補足事項	対策必要コマ数 1コマ
対策必要コマ数の根拠		難易度的にしっかり差をつけられる。			

2位	福岡大学	□難易度 当てはまる箇所に○をつけてください 有利 ・ 妥当 ・ 対策次第	□問題量 当てはまる箇所に○をつけてください 有利 ・ 妥当 ・ 対策次第	□頻出分野 当てはまる箇所に○をつけてください 有利 ・ 妥当 ・ 対策次第	対策後の予想得点率 75%
		□出題形式 当てはまる箇所に○をつけてください 有利 ・ 妥当 ・ 対策次第	□配点比率 当てはまる箇所に○をつけてください 有利 ・ 妥当 ・ 対策次第	補足事項	対策必要コマ数 1コマ
対策必要コマ数の根拠		記述の数Ⅲは確実に。どの問題に力を入れてどの問題を捨てるか、トータルで合格点に達するような取り組み方の練習をする。			

3位	昭和大学	□難易度 当てはまる箇所に○をつけてください 有利 ・ 妥当 ・ 対策次第	□問題量 当てはまる箇所に○をつけてください 有利 ・ 妥当 ・ 対策次第	□頻出分野 当てはまる箇所に○をつけてください 有利 ・ 妥当 ・ 対策次第	対策後の予想得点率 75%
		□出題形式 当てはまる箇所に○をつけてください 有利 ・ 妥当 ・ 対策次第	□配点比率 当てはまる箇所に○をつけてください 有利 ・ 妥当 ・ 対策次第	補足事項	対策必要コマ数 1コマ
対策必要コマ数の根拠		過去問等を用いて時間を意識した演習をする。その際、ムダな計算で遠回りをしていないか、よりスピーディーに解けなかったかを吟味する。			

©2006-2022 Medical Lab

受験校決定の『マッチング』

得意科目・不得意科目と配点比率の『マッチング』

©2006-2022 Medical Lab

受験校決定のための『マッチング』［国公立大　配点比率］ 2023年度入試

得意科目・不得意科目と配点比率の『マッチング』

※「2023年度用　全国医学部最新受験情報」P44～P49より抜粋。

大学名	大学入学共通テスト							
		英語	数学	理科①	理科②	国語	地歴・公民	合計	共通テスト ボーダー得点率
旭川医科大学	配点	100	100	100	100	100	50	**550点**	76%
	割合／共テ	18.2%	18.2%	18.2%	18.2%	18.2%	9.1%	ー	
	割合／総	11.1%	11.1%	11.1%	11.1%	11.1%	5.6%	**61.1%**	
北海道大学	配点	60	60	30	30	80	40	**300点**	82%
	割合／共テ	20.0%	20.0%	10.0%	10.0%	26.7%	13.3%	ー	
	割合／総	7.3%	7.3%	3.6%	3.6%	9.7%	4.8%	**36.4%**	
弘前大学	配点	200	200	150	150	200	100	**1000点**	76%
	割合／共テ	20.0%	20.0%	15.0%	15.0%	20.0%	10.0%	ー	
	割合／総	13.3%	13.3%	10.0%	10.0%	13.3%	6.7%	**66.7%**	
東北大学	配点	50	50	25	25	50	50	**250点**	82%
	割合／共テ	20.0%	20.0%	10.0%	10.0%	20.0%	20.0%	ー	
	割合／総	4.2%	4.2%	2.1%	2.1%	4.2%	4.2%	**20.8%**	
秋田大学	配点	100	100	100	100	100	50	**550点**	76%
	割合／共テ	18.2%	18.2%	18.2%	18.2%	18.2%	9.1%	ー	
	割合／総	10.5%	10.5%	10.5%	10.5%	10.5%	5.3%	**57.9%**	

©2006-2022 Medical Lab

受験校決定のための『マッチング』［国公立大　配点比率］ 2023年度入試

得意科目・不得意科目と配点比率の『マッチング』

※「2023年度用　全国医学部最新受験情報」P44～P49より抜粋。

	2次試験（個別学力試験）								総合計 大学入学共通テ:2次(合計) 大学入学共通テ:2次(割合)	大学名
	英語	数学	理科①	理科②	国語	総合（その他）	面接	合計	ボーダー偏差値(2次)	
配点	150	150	ー	ー	ー	ー	50　個	**350点**	900点	旭川医科大学
割合／2次	42.9%	42.9%	ー	ー	ー	ー	14.3%	ー	550点：350点	
割合／総	16.7%	16.7%	ー	ー	ー	ー	5.6%	**38.9%**	61.1%：38.9%	
配点	150	150	75	75	ー	ー	75　非	**525点**	825点	北海道大学
割合／2次	28.6%	28.6%	14.3%	14.3%	ー	ー	14.3%	ー	300点：525点	
割合／総	18.2%	18.2%	9.1%	9.1%	ー	ー	9.1%	**63.6%**	36.4%：63.6%	
配点	ー	ー	ー	ー	ー	300	200　個	**500点**	1500点	弘前大学
割合／2次	ー	ー	ー	ー	ー	60.0%	40.0%	ー	1000点：500点	
割合／総	ー	ー	ー	ー	ー	20.0%	13.3%	**33.3%**	66.7%：33.3%	
配点	250	250	125	125	ー	ー	200　非	**950点**	1200点	東北大学
割合／2次	26.3%	26.3%	13.2%	13.2%	ー	ー	21.1%	ー	250点：950点	
割合／総	20.8%	20.8%	10.4%	10.4%	ー	ー	16.7%	**79.2%**	20.8%：79.2%	
配点	100	100	ー	ー	ー	ー	200　非	**400点**	950点	秋田大学
割合／2次	25.0%	25.0%	ー	ー	ー	ー	50.0%	ー	550点：400点	
割合／総	10.5%	10.5%	ー	ー	ー	ー	21.1%	**42.1%**	57.9%：42.1%	

©2006-2022 Medical Lab

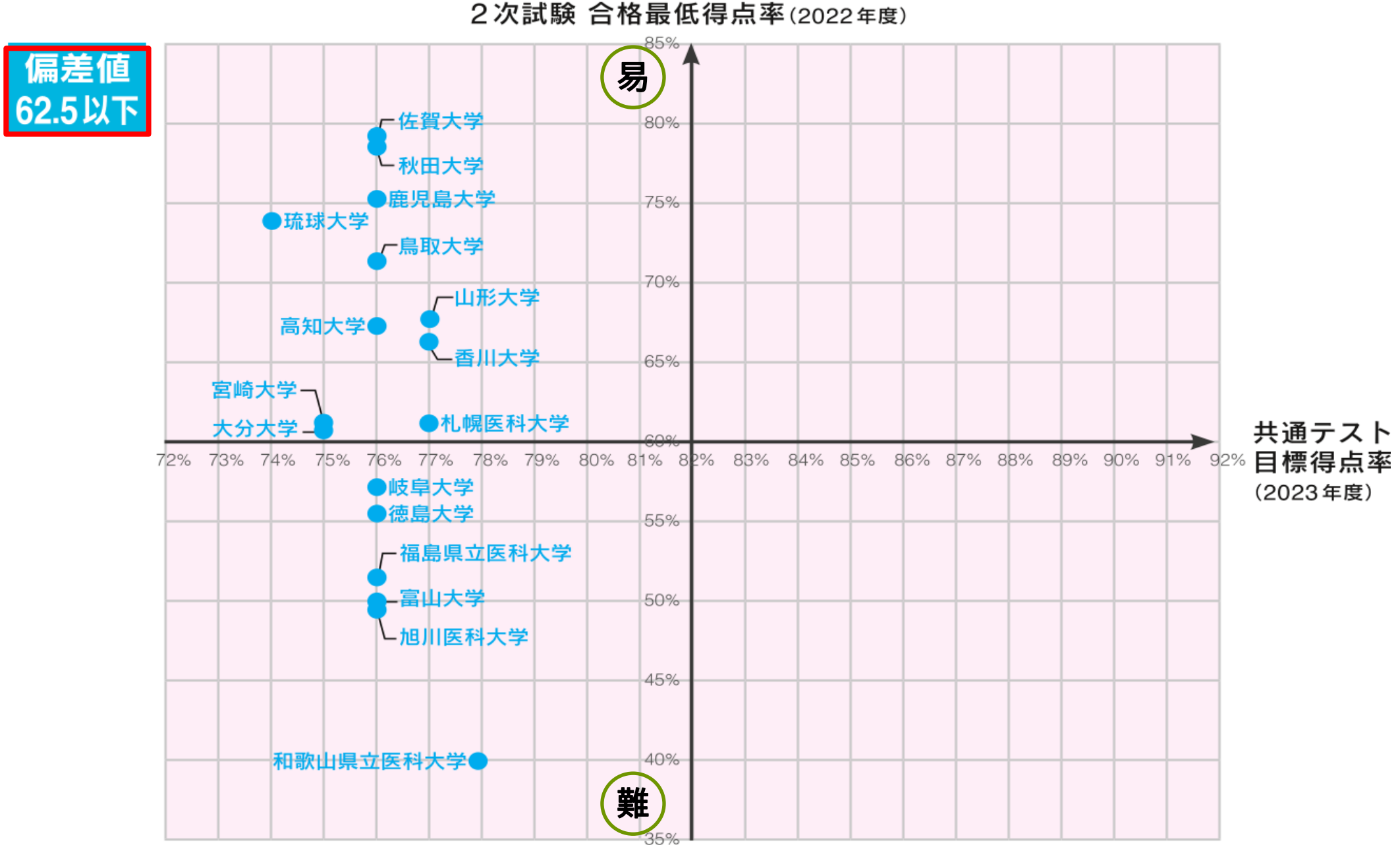
受験校決定の『マッチング』

出題難度・出題内容との『マッチング』

©2006-2022 Medical Lab

受験校決定のための『マッチング』 ［国公立大 前期 出題難度］

「2023年度用全国医学部最新受験情報」P54~P55 より抜粋

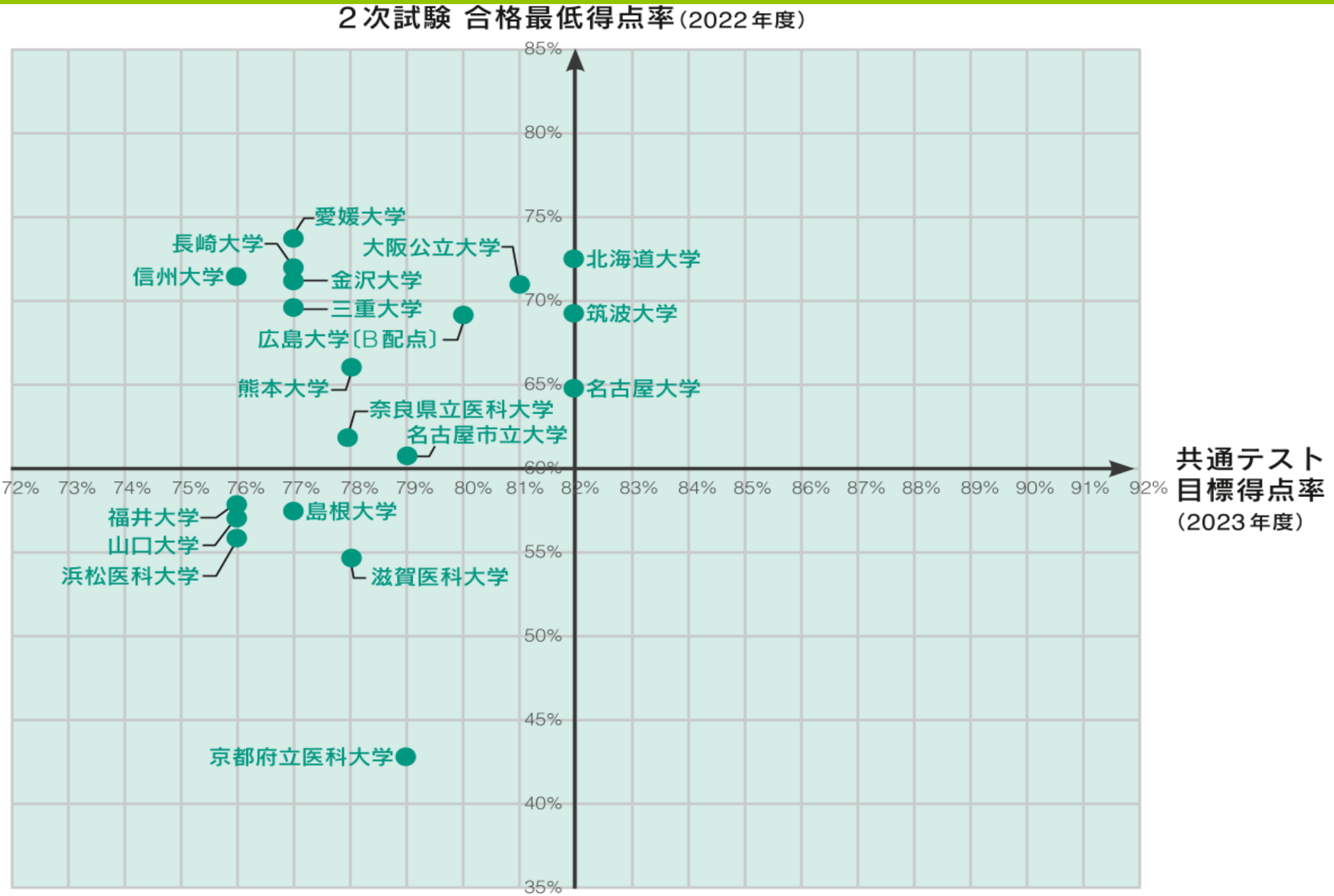


©2006-2022 Medical Lab

受験校決定のための『マッチング』 ［国公立大　前期　出題難度］

「2023年度用全国医学部最新受験情報」P54~P55 より抜粋

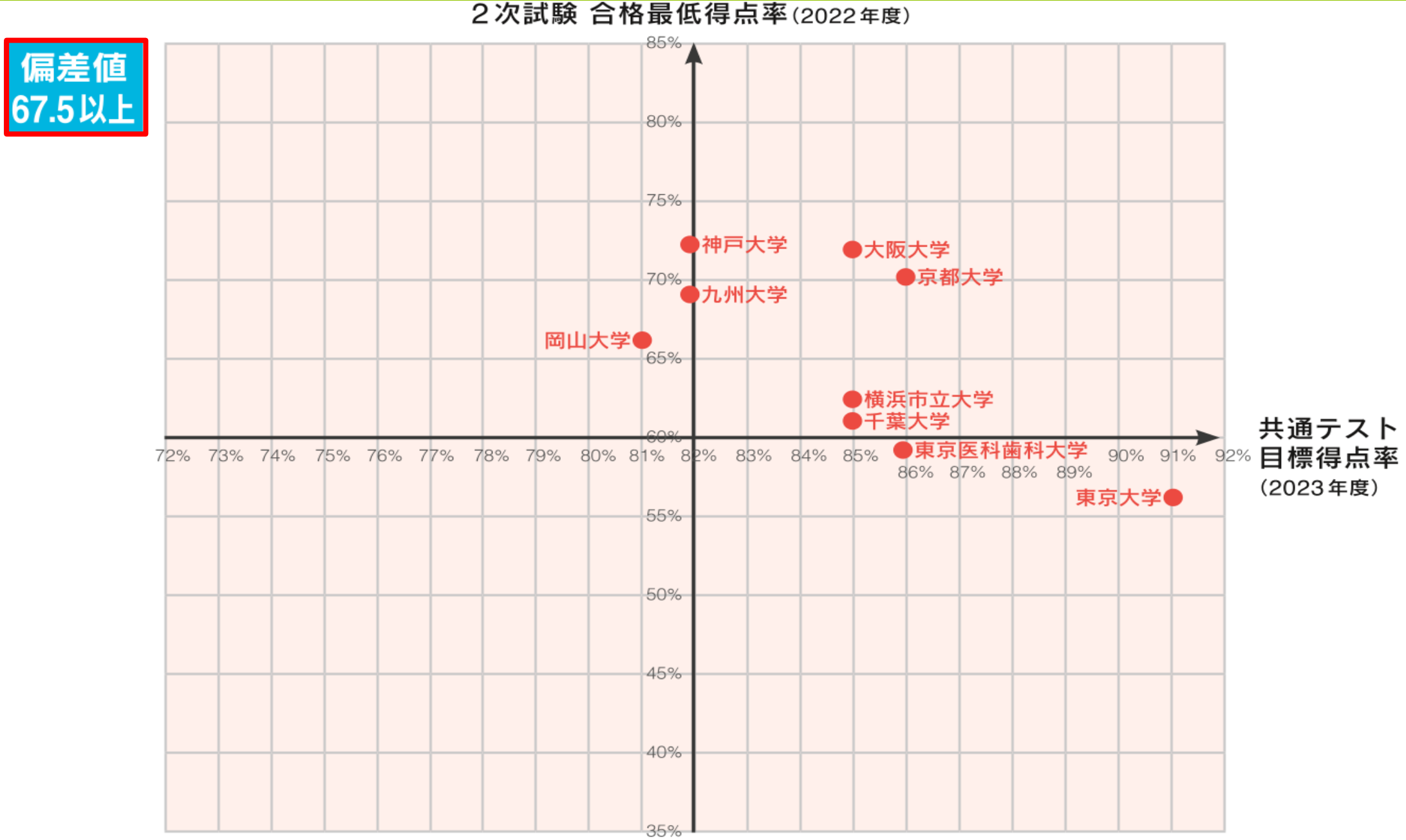
偏差値 65



©2006-2022 Medical Lab

受験校決定のための『マッチング』 ［国公立大 前期 出題難度］

「2023年度用全国医学部最新受験情報」P54~P55 より抜粋



©2006-2022 Medical Lab

受験校決定のための『マッチング』 ［ 国公立大 前期 入試問題分類 ］

※「2023年度用全国医学部最新受験情報」P50~P51 より抜粋

学校名	学部学科	他学部と共通	医学科独自問題	他学部と一部共通	備考
旭川医科大学	医・医		英 数		
北海道大学	医・医	英 数 化 生 物			
弘前大学	医・医		総合問題		※医学科独自の総合問題のみ。
東北大学	医・医	英 数 化 生 物			
秋田大学	医・医			英 数	英語：大問３題のうち、１題が独自。 数学：大問４題のうち、３題が独自。
山形大学	医・医	英 化 生 物		数	数学：大問４題のうち、１題が独自。
筑波大学	医・医	英 数 化 生 物			
群馬大学	医・医	数 化		数 物	数学：大問５題のうち、大問１(3)、大問３・４・５が独自。 物理：大問３題のうち、大問２(11)のみ独自。
千葉大学	医・医	英 数 化 生 物			
東京大学	医・医	英 数 化 生 物			
東京医科歯科大学	医・医	英 化 生		数 物	数学：大問３題のうち、２題が独自。 物理：大問２題のうち、大問１の問７・８、大問２の問２(5)・(6)が独自。
新潟大学	医・医	英 化 生 物		数	数学：大問４題のうち、１題が独自。
富山大学	医・医	数 化 生 物	英		
金沢大学	医・医	英 数 化 物			
福井大学	医・医	物	化 生	英 数	英語：大問４題のうち、３題が独自。 数学：大問４題のうち、３題が独自。
山梨大学（後期）	医・医		英 数 化 生 物		
信州大学	医・医	英 化 生 物		数	数学：大問５題のうち、１題が独自。
岐阜大学	医・医	英 数 化 生 物			
浜松医科大学	医・医		英 数 化 生 物		
名古屋大学	医・医	英 数 化 生 物			
三重大学	医・医	英 化 生 物		数	数学：大問３題のうち、大問１(5)、大問２(3)、大問３が独自。
滋賀医科大学	医・医		英 数 化 生 物		
京都大学	医・医	英 数 化 生 物			
大阪大学	医・医	英 数 化 生 物			
神戸大学	医・医	英 数 化 生 物			

学校名	学部学科	他学部と共通	医学科独自問題	他学部と一部共通	備考
鳥取大学	医・医	英 化 生 物		数	数学：大問４題のうち、１題が独自。
島根大学	医・医	数		英	英語：大問５題のうち、２題が独自。
岡山大学	医・医	英 数 化 生 物			
広島大学	医・医	英 数 化 生 物			
山口大学	医・医	英 数 化 生 物			
徳島大学	医・医	英 数			
香川大学	医・医	英 化 生 物		数	数学：大問４題のうち、３題が独自。
愛媛大学	医・医	数 化 物	総		※英語は医学科独自の「総合問題」で出題。
高知大学	医・医	数 化 生 物	英		
九州大学	医・医	英 数 化 生 物			
佐賀大学	医・医	英 数 物	化		
長崎大学	医・医	英 化 生 物		数	数学：大問４題のうち、２題が独自。
熊本大学	医・医	英 化 生 物		数	数学：大問４題のうち、大問２(問2)、大問３・４が独自。
大分大学	医・医		英 数 化 生 物		
宮崎大学	医・医	化 生 物	英	数	数学：大問５題のうち、１題が独自。
鹿児島大学	医・医	英 数 化 生 物			
琉球大学	医・医	英 数 化 生 物			
札幌医科大学	医・医		英 数 化 生 物		
福島県立医科大学	医・医		英 数 化 生 物		
横浜市立大学	医・医	英 数		化 生 物	物理：大問３題のうち、大問Ⅰ(4)・(5)・(6)、大問Ⅱが独自。 化学：大問３題のうち、大問Ⅰ(3)、大問Ⅲ(7)が独自。 生物：大問３題のうち、大問Ⅰ(9)、大問Ⅲ(8)が独自。
名古屋市立大学	医・医	英 数	化		
京都府立医科大学	医・医		英 数 化 生 物		
大阪公立大学	医・医	英 数 化 生 物			
奈良県立医科大学	医・医		英 数 化 生 物		
和歌山県立医科大学	医・医		英 数 化 生 物		

©2006-2022 Medical Lab
※「2023年度用全国医学部最新受験情報」 P246より抜粋

浜松医科大学

2022年度の出題傾向と分析

英 語（前期）

解答形式▶記述

問題の全体難易度 ★★☆☆ 標準　前年との難易度比較 → 変化なし　時間に対する分量 適量

パート	分野	長文の種類 単語数	内容	出題形式	難易度
1	読解	医療系 約1,000 語	「コロナ禍での遠隔医療の課題点」に関する説明文（語彙問題、内容説明、内容一致問題）	選択・記述	★★☆☆
2	読解	社会系 約650 語	「GDPに代わる幸福の指標」に関する説明文（選択式単語補充問題20 題、英語による記述問題）	選択式空所補充・記述	★★☆☆
3	英作文	—	「多様性（diversity）」についての自由英作文（2題で合計100 語程度）	記述	★★☆☆

22 年度も〈パート 1〉で語彙選択と記述問題中心の長文問題、〈パート 2〉では空所補充と英語で答える記述問題から成る長文問題、〈パート 3〉で自由英作文という構成で、19 年度以降同じ出題形式が続いている。長文２題の合計単語数は若干増加したが、読解の難度自体は 21 年度と同程度。〈パート 1〉の長文は、コロナ禍での遠隔医療に関するもので、21 年度の〈パート 2〉で出題されたものと類似したトピックだった。〈パート 3〉の自由英作文の設問が２つに分かれて、合計で 100 語程度という細かな変更点はあったが、難度はさほど変わらない。例年通り標準的な難度に抑えられているので、22 年度の〈パート 1〉の長文のように時事問題を扱ったものも含め、700 ～ 1,000 語程度の読解問題で演習し、90 分の試験時間ですべて解き切るところまで実力を高めることが肝要だ。

©2006-2022 Medical Lab
※「2023年度用全国医学部最新受験情報」 P254より抜粋

京都府立医科大学

2022年度の出題傾向と分析

英 語（前期）

解答形式▶記述

問題の全体難易度 ★★★★ 難　　前年との難易度比較 難化　　時間に対する分量 非常に多い

大問	分野	長文の種類 単語数	内容	出題形式	難易度
1	読解	社会系 約1,200語	「中流階級の学童による言語能力の発達」に関する評論文（選択問題、本文抜出、内容説明（日本語による記述））	選択・記述	★★★★
2	読解	伝記系 約1,000語	「マハトマ・ガンディーの信念とインド独立」を扱った説明文（内容説明（英語による記述））	記述	★★★★
3	読解	社会系 約1,250語	「中年でフランス語を学習することの難しさ」についての説明文（内容一致問題）	選択	★★☆☆
4	英作文	—	「コロナ禍での公共図書館によるオンラインサービスについての是非」をまとめる自由英作文（約200字）	記述	★★☆☆

長文3題と自由英作文1題という問題構成は例年通り。21年度と同様に、大問1は日本語で解答する記述問題中心、大問2は英語で解答する記述問題中心と、大問によって明確な形式の棲み分けがなされている。大問3は例年通り正誤判定の選択問題、大問4も例年通り標準レベルの自由英作文だ。21年度より長文の合計単語数は若干増え、選択問題は1問のみで、残りは全て記述問題か本文の抜き出し問題だった。さらに、長文読解の難度は21年度よりも上がったと思われる。読解量と設問の多さは、試験時間120分とは言え、かなりタイトだろう。対策としては、まず1,000語程度の長文問題を、時間設定をした上で最後までこなせるように訓練すること。さらに過去問演習を通じて時間配分を検討し、大問の最適な解答順序を自分でつかみ取ることが求められる。

©2006-2022 Medical Lab

受験校決定のための『マッチング』 ［私立大　配点比率・出題難度・分量・解答形式］

※「2023年度用全国医学部最新受験情報」 P16より抜粋

大学名		項目	英語	数学	化学	生物	物理	合計	ボーダー偏差値
帝京大学	2023	配点	100	100	100	100	100	300点	65.0
		割合	33.3%	33.3%	33.3%	33.3%	33.3%		
		出題範囲・選択数	ー	Ⅰ・Ⅱ・A・B〔列・べ〕※2	化基・化，生基・生，物基・物→0～2科目 ※2				
	2022	難易度	標準	易	標準	やや難	標準	―	
		分量	適量	適量	多い	適量	適量		
		解答形式	記述／マーク	記述	記述	記述	記述		
東京医科大学	2023	配点	100	100	100	100	100	400点（＋小論文60）（＋面接40）	67.5
		割合	25.0%	25.0%	25.0%	25.0%	25.0%		
		出題範囲・選択数	ー	Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・A・B〔列・べ〕	化基・化，生基・生，物基・物→2科目				
	2022	難易度	標準	易	標準	やや難	標準	―	
		分量	多い	少ない	多い	多い	非常に多い		
		解答形式	記述／マーク	マーク	マーク	マーク	マーク		
東京慈恵会医科大学	2023	配点	100	100	100	100	100	400点	70.0
		割合	25.0%	25.0%	25.0%	25.0%	25.0%		
		出題範囲・選択数	ー	Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・A・B〔列・べ〕	化基・化，生基・生，物基・物→2科目				
	2022	難易度	やや難	やや難	難	やや難	やや難	―	
		分量	多い	多い	非常に多い	多い	多い		
		解答形式	記述／マーク	記述	記述	記述	記述		
日本医科大学（前期）	2023	配点	300	300	200	200	200	1000点	70.0
		割合	30.0%	30.0%	20.0%	20.0%	20.0%		
		出題範囲・選択数	ー	Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・A・B〔列・べ〕	化基・化，生基・生，物基・物→2科目				
	2022	難易度	やや難	やや難	やや難	やや難	標準	―	
		分量	適量	多い	多い	適量	適量		
		解答形式	記述／マーク	記述	記述	記述	記述		

©2006-2022 Medical Lab

受験校決定のための『マッチング』 ［私立大 出題傾向と出題範囲〈数学〉］

※「2023年度用全国医学部最新受験情報」 P23より抜粋

大学名		問題の全体難易度				時間に対する分量				数Ⅰ					数A				数Ⅱ							数B			数Ⅲ					
		易	標準	やや難	難	少ない	適量	多い	非常に多い	数と式	集合と命題	2次関数	図形と計量	データの分析	整数の性質	図形の性質	場合の数	確率	図形と方程式	複素数と方程式	式と証明	三角関数	指数関数・対数関数	微分法	積分法	平面ベクトル	空間ベクトル	数列	複素数平面	平面上の曲線	関数	極限	微分法の応用	積分法の応用
日本医科大学	2022			●				●										●									●	●	●				●	●
	2021		●					●				●						●						●					●		●	●	●	●
	2020			●				●																			●	●		●		●		●
	2019			●				●																			●			●		●	●	●
北里大学	2022		●				●								●									●	●			●	●		●			●
	2021		●				●														●	●					●	●	●			●	●	●
	2020		●				●						●		●			●		●							●					●	●	●
	2019		●				●											●				●							●	●		●			●
聖マリアンナ医科大学	2022	●					●			●								●					●				●				●	●		●
	2021	●					●					●		●	●									●	●							●		
	2020		●				●								●										●		●		●			●		
	2019		●				●							●	●				●	●						●		●		●			●	●
東海大学	2022		●				●								●	●						●	●					●	●		●		●	●
	2021		●				●			●	●				●	●													●			●	●	●
	2020		●				●			●		●			●			●	●			●			●								●	
	2019		●				●					●	●	●															●			●	●	●

©2006-2022 Medical Lab

河合塾グループ 医系専門予備校
メディカル ラボ®

私立医学部模試

個人の学力特性×大学の出題傾向で
最も近い
医学部合格を見つける。

9/25日 10/2日 10/9日

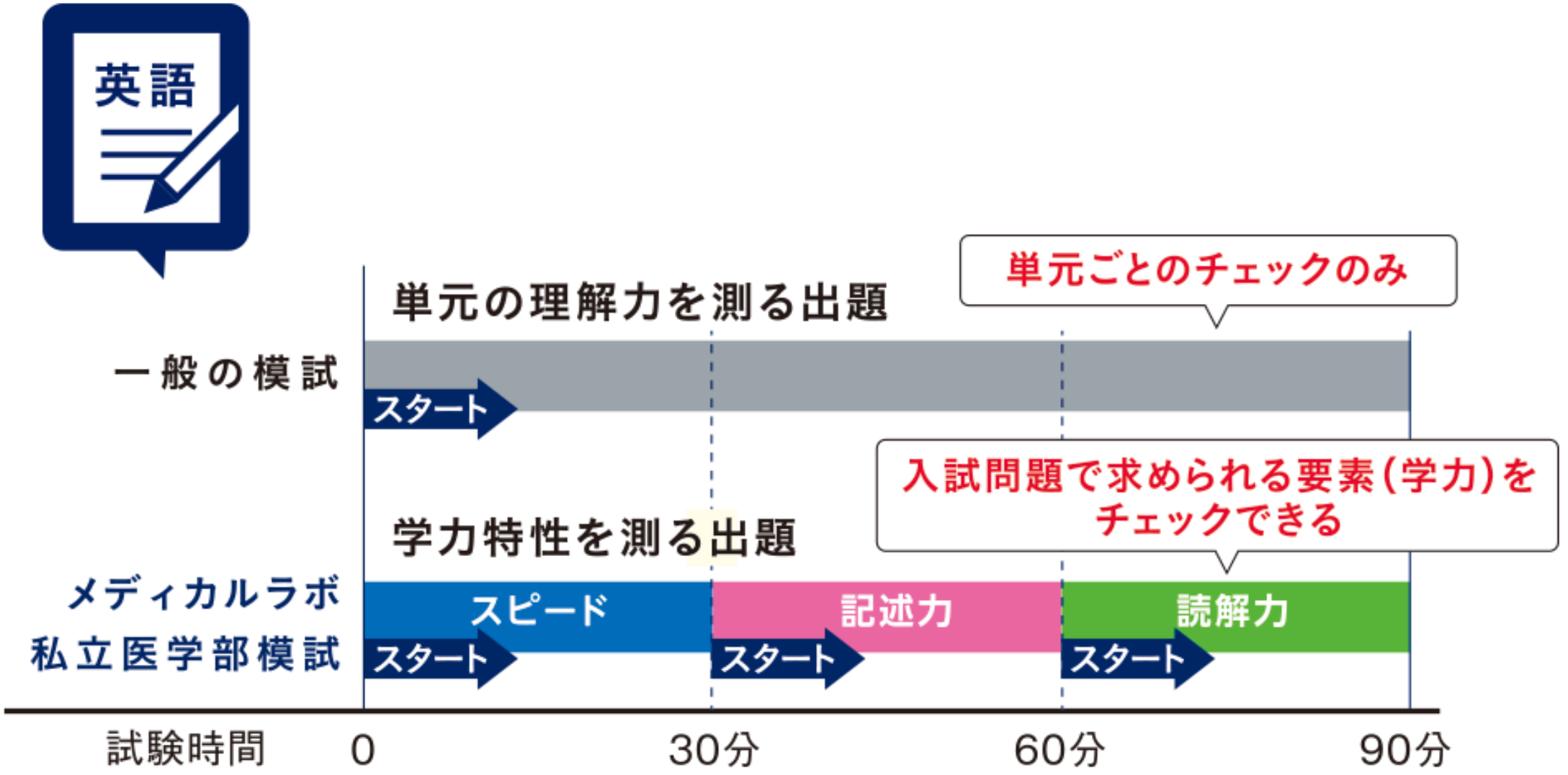
全国27会場・自宅受験

◀詳しくはこちらから

◀紹介動画はこちらから

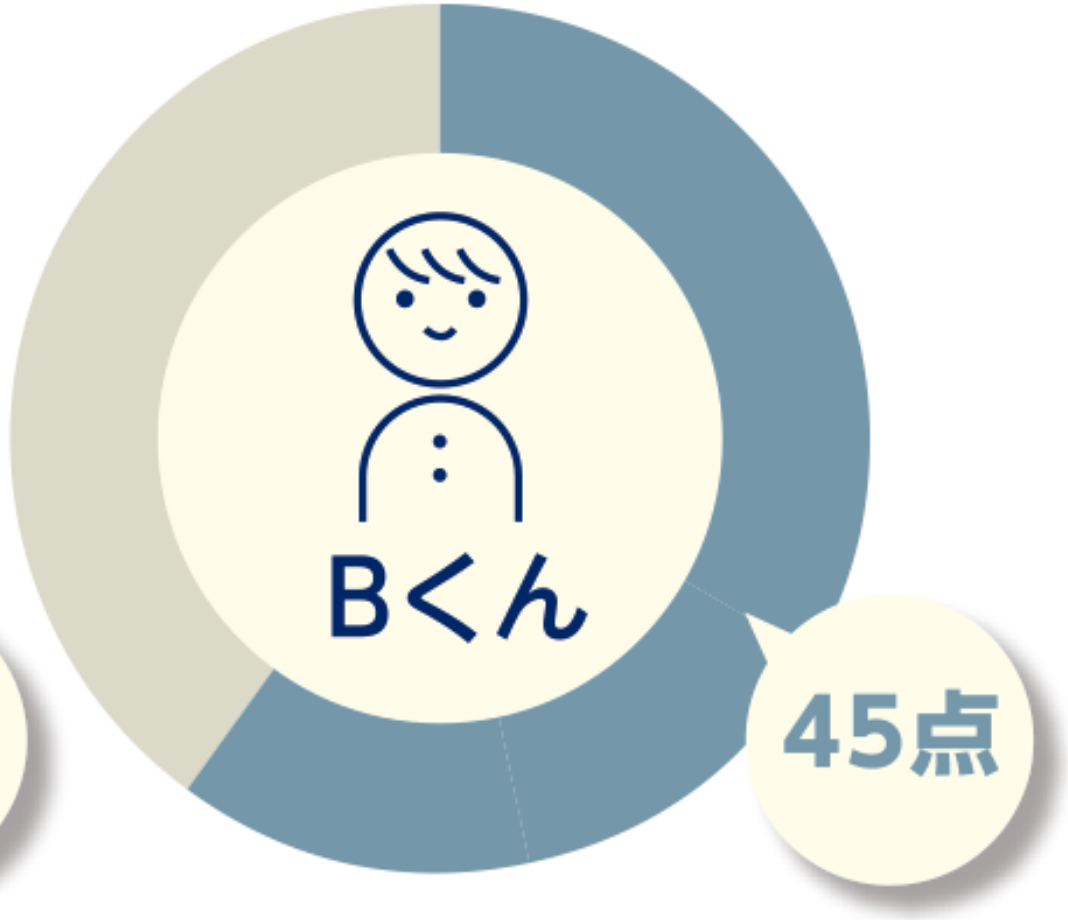
©2006-2022 Medical Lab

医系部専門予備校　メディカルラボ　私立医学部模試とは



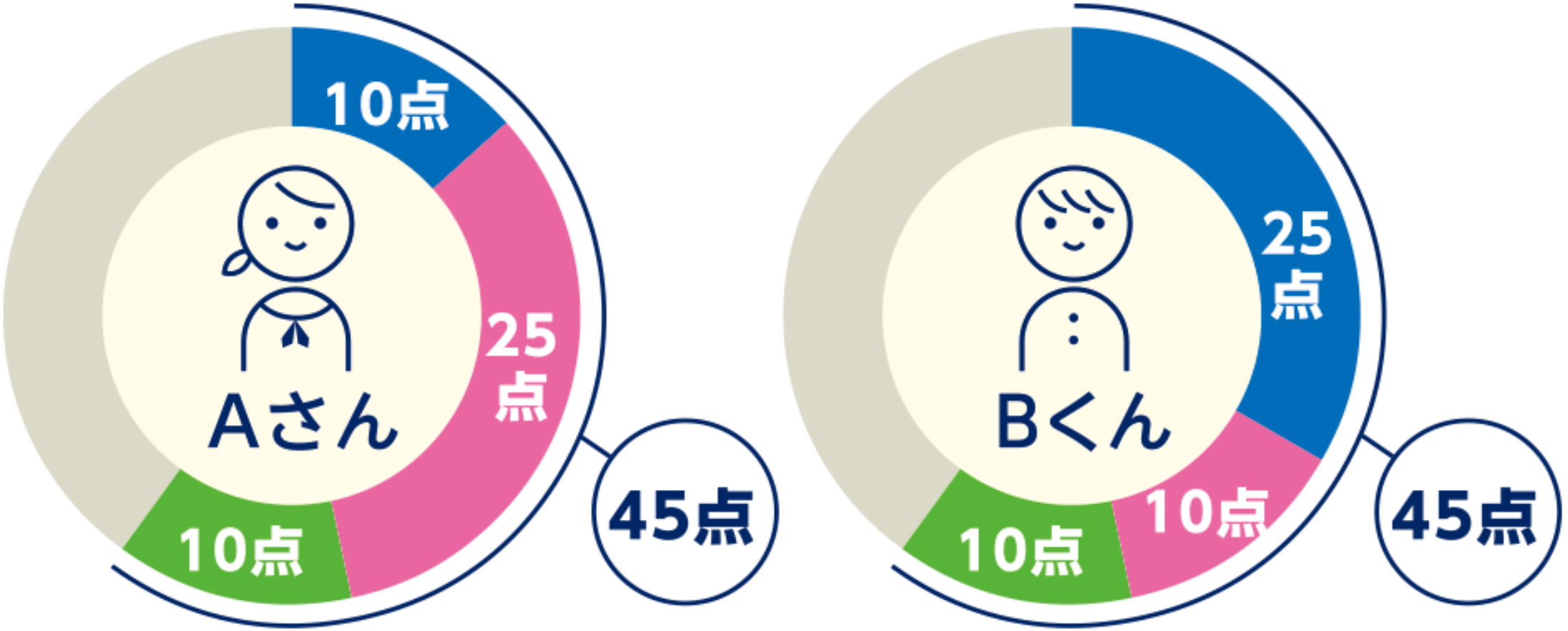
©2006-2022 Medical Lab

医系部専門予備校　メディカルラボ　私立医学部模試とは



©2006-2022 Medical Lab

医系部専門予備校　メディカルラボ　私立医学部模試とは



● スピード　● 記述力　● 読解力

©2006-2022 Medical Lab

医系部専門予備校　メディカルラボ　私立医学部模試とは

換算基準：スピード×3　記述力×0　読解力×1

Aさん　10点×3　10点×1　40点

Bくん　25点×3　10点×1　85点

©2006-2022 Medical Lab

医系部専門予備校　メディカルラボ　私立医学部模試とは

自分の学力特性

大学の出題傾向

「自分の学力特性」

×

「全国私立医学部（31大学）の出題傾向」

この両者を照らし合わせ、合格に最も近い大学を判定する。

©2006-2022 Medical Lab

受験校決定の『マッチング』

合格者/入学者の内訳 【 現浪比 】

©2006-2022 Medical Lab

2022年度　合格者/入学者の内訳　【国公立大学】

現既比

※「2023年度用全国医学部最新受験情報」 P62より抜粋

大学名		現役	1浪	2浪	3浪その他
旭川医科大学	B	62.1%	37.9%		
北海道大学※1	B	61.9%	38.1%		
弘前大学	B	62.5%	25.9%	11.6%	
東北大学※2	B	67.2%	32.8%		
秋田大学	B	60.5%	39.5%		
山形大学		非公表			
筑波大学		非公表			
群馬大学	B	66.7%	24.1%	9.3%	
千葉大学	A	63.8%	36.2%		
東京大学	A	81.4%	14.4%	4.2%	
東京医科歯科大学		非公表			
新潟大学	B	60.9%	39.1%		
富山大学※3	B	51.9%	32.1%	16.0%	
金沢大学		非公表			
福井大学		非公表			
山梨大学	B	56.0%	30.4%	8.8%	4.8%
信州大学	B	52.5%	30.0%	17.5%	
岐阜大学		非公表			
浜松医科大学	B	66.7%	33.3%		
名古屋大学		非公表			
三重大学	A	47.2%	26.4%	11.2%	15.2%
滋賀医科大学	B	52.6%	47.4%		
京都大学※4	B	69.7%	30.3%		
大阪大学※4	A	66.7%	33.3%		
神戸大学	A	63.4%	31.3%	2.7%	2.7%
鳥取大学※4	B	25.0%	75.0%		
島根大学		非公表			
岡山大学	A	49.6%	50.4%		
広島大学		非公表			
山口大学	A	55.6%	24.1%	20.4%	
徳島大学	B	66.7%	33.3%		
香川大学	B	44.0%	56.0%		
愛媛大学		非公表			
高知大学	A	41.6%	58.4%		

大学名		現役	1浪	2浪	3浪その他
九州大学※5	A	65.8%	34.2%		
佐賀大学	B	66.7%	29.4%	3.9%	
長崎大学	B	55.8%	29.2%	8.3%	6.7%
熊本大学	A	38.9%	61.1%		
大分大学※1	A	29.4%	47.1%	14.7%	8.8%
宮崎大学	A	36.4%	63.6%		
鹿児島大学※6	A	42.9%	33.9%	14.3%	8.9%
琉球大学	A	57.0%	28.9%	5.3%	8.8%
札幌医科大学	B	61.2%	38.8%		
福島県立医科大学※7	B	54.6%	45.4%		
横浜市立大学	A	73.1%	26.9%		
名古屋市立大学		非公表			
京都府立医科大学	A	57.8%	42.2%		
大阪公立大学		非公表			
奈良県立医科大学	B	58.4%	41.6%		
和歌山県立医科大学	A	54.9%	45.1%		

●表の見方

A：総合格者
B：入学者

※1　総合型選抜を除く。
※2　国際バカロレア選抜・私費外国人留学生選抜・帰国生選抜計3名を含む。
※3　帰国生選抜1名を含む。
※4　学校推薦型選抜を除く。
※5　追加合格者を除く。
※6　国際バカロレア選抜4名を含む。
※7　海外教育プログラム選抜3名を含む。
※8　国際バカロレア選抜3名を含む。

©2006-2022 Medical Lab

2022年度　合格者/入学者の内訳　【私立大学】

現既比

大学名		現役	1浪	2浪	3浪その他
岩手医科大学	C	24.4%	35.0%	14.6%	26.0%
東北医科薬科大学		非公表			
自治医科大学	C	34.1%	51.2%	11.4%	3.3%
獨協医科大学	A	26.3%	73.7%		
埼玉医科大学	C	34.6%	37.7%	10.0%	17.7%
国際医療福祉大学	C	47.9%	28.2%	23.9%	
杏林大学		非公表			
慶應義塾大学	D	72.5%	25.8%	1.7%	
順天堂大学	A	63.2%	30.1%	4.3%	2.3%
昭和大学	C	35.2%	64.8%		
帝京大学		非公表			
東京医科大学	A	44.4%	38.1%	10.1%	7.4%
東京慈恵会医科大学	C	57.1%	33.3%	3.8%	5.7%
東京女子医科大学	C	41.8%	23.6%	14.5%	20.0%
東邦大学	C	46.7%	36.7%	11.7%	5.0%
日本大学	C	27.2%	35.2%	16.0%	21.6%
日本医科大学	C	48.0%	39.8%	6.5%	5.7%
北里大学	A	33.1%	66.9%		
聖マリアンナ医科大学	C	48.7%	27.8%	8.7%	14.8%
東海大学	A	28.0%	34.0%	19.0%	19.0%
金沢医科大学	C	10.8%	32.3%	24.6%	32.3%
愛知医科大学	C	25.0%	75.0%		
藤田医科大学	C	30.8.%	30.0%	15.0%	24.2%
大阪医科薬科大学	C	21.4%	45.5%	16.1%	17.0%
関西医科大学	C	24.4%	75.6%		
近畿大学	C	25.0%	75.0%		
兵庫医科大学	A	30.7%	69.3%		
川崎医科大学	C	22.8%	18.9%	23.6%	34.6%
久留米大学	B	17.4%	29.6%	26.1%	26.9%
産業医科大学	A	31.7%	40.5%	17.5%	10.3%
福岡大学	B	19.9%	80.1%		

※「2023年度用全国医学部最新受験情報」P33より抜粋

●表の見方

A：総合格者
B：正規合格者
C：入学者
D：入学許可者

※岩手医科大学の地元占有率の地元は、東北地方。
※獨協医科大学の現既比は学校推薦型選抜、総合型選抜を除く。
※国際医療福祉大学の現既比は留学生特別選抜を除く。
※東邦大学の地元占有率の地元は、出身校所在地。
※北里大学の現既比は、高校卒業認定試験合格者、外国の学校卒業者等を除く。
※東海大学は一般選抜のみ。
※愛知医科大学の地元占有率は、国際バカロレア選抜を除く。
※近畿大学は附属高校推薦を含む。
※川崎医科大学は附属高校からの推薦入学を含む。
※久留米大学は地元占有率を除き、一般選抜前期のみ。
※福岡大学は一般選抜のみ。

©2006-2022 Medical Lab

受験校決定の『マッチング』

合格者/入学者の内訳 【 男女比・地元占有率 】

©2006-2022 Medical Lab

2022年度　合格者/入学者の内訳　【国公立大学】

男女比

大学名		男	女
旭川医科大学	B	56.8%	43.2%
北海道大学※1	B	77.3%	22.7%
弘前大学	B	52.7%	47.3%
東北大学※2	B	79.0%	21.0%
秋田大学	B	57.3%	42.7%
山形大学	B	64.6%	35.4%
筑波大学		非公表	
群馬大学	B	63.9%	36.1%
千葉大学	A	70.0%	30.0%
東京大学		非公表	
東京医科歯科大学※8	A	64.5%	35.5%
新潟大学	B	78.2%	21.8%
富山大学※3	B	53.8%	46.2%
金沢大学	A	64.9%	35.1%
福井大学	B	62.7%	37.3%
山梨大学	B	74.4%	25.6%
信州大学	B	66.7%	33.3%
岐阜大学	B	60.7%	39.3%
浜松医科大学	B	57.9%	42.1%
名古屋大学	B	75.0%	25.0%
三重大学	A	60.0%	40.0%
滋賀医科大学	B	61.1%	38.9%
京都大学※4	B	81.7%	18.3%
大阪大学※4	A	76.8%	23.2%
神戸大学	A	67.0%	33.0%
鳥取大学	B	54.8%	45.2%
島根大学	B	55.9%	44.1%
岡山大学	A	60.2%	39.8%
広島大学	A	65.3%	34.7%
山口大学	A	64.8%	35.2%
徳島大学	B	60.5%	39.5%
香川大学	B	62.4%	37.6%
愛媛大学	B	56.4%	43.6%
高知大学	A	55.8%	44.2%
九州大学※5	A	68.5%	31.5%
佐賀大学	B	52.0%	48.0%
長崎大学	B	53.3%	46.7%
熊本大学	A	75.0%	25.0%
大分大学※1	A	57.4%	42.6%
宮崎大学	A	52.3%	47.7%
鹿児島大学※6	A	63.4%	36.6%
琉球大学	A	53.5%	46.5%
札幌医科大学	B	73.8%	26.2%
福島県立医科大学※7	B	66.2%	33.8%
横浜市立大学	A	58.1%	41.9%
名古屋市立大学	B	64.9%	35.1%
京都府立医科大学	A	59.6%	40.4%
大阪公立大学	B	73.7%	26.3%
奈良県立医科大学	B	69.0%	31.0%
和歌山県立医科大学	A	69.6%	30.4%

地元占有率

※「2023年度用全国医学部最新受験情報」 P62より抜粋

大学名		地元出身者	その他
旭川医科大学	B	60.0%	40.0%
北海道大学※1	B	33.0%	67.0%
弘前大学	B	38.4%	61.6%
東北大学※2	B	16.8%	83.2%
秋田大学	B	25.0%	75.0%
山形大学	B	26.0%	74.0%
筑波大学		非公表	
群馬大学	B	26.9%	73.1%
千葉大学		非公表	
東京大学		非公表	
東京医科歯科大学		非公表	
新潟大学	B	42.1%	57.9%
富山大学※3	B	40.6%	59.4%
金沢大学		非公表	
福井大学	B	19.1%	80.9%
山梨大学		非公表	
信州大学	B	28.3%	71.7%
岐阜大学		非公表	
浜松医科大学	B	46.5%	53.5%
名古屋大学		非公表	
三重大学		非公表	
滋賀医科大学	B	23.2%	76.8%
京都大学※4	B	13.8%	86.2%
大阪大学		非公表	
神戸大学		非公表	
鳥取大学		非公表	
島根大学		非公表	
岡山大学	A	32.7%	67.3%
広島大学		非公表	
山口大学		非公表	
徳島大学	B	27.2%	72.8%
香川大学		非公表	
愛媛大学		非公表	
高知大学		非公表	
九州大学※5	A	44.1%	55.9%
佐賀大学		非公表	
長崎大学	B	41.7%	58.3%
熊本大学	A	36.1%	63.9%
大分大学※1	A	27.9%	72.1%
宮崎大学	A	41.1%	58.9%
鹿児島大学		非公表	
琉球大学	A	55.3%	44.7%
札幌医科大学	B	90.3%	9.7%
福島県立医科大学※7	B	33.1%	66.9%
横浜市立大学	A	49.5%	50.5%
名古屋市立大学		非公表	
京都府立医科大学	A	31.2%	68.8%
大阪公立大学		非公表	
奈良県立医科大学	B	31.9%	68.1%
和歌山県立医科大学	A	28.4%	71.6%

©2006-2022 Medical Lab

2022年度　合格者/入学者の内訳　【私立大学】

男女比

大学名		男	女
岩手医科大学	C	65.9%	34.1%
東北医科薬科大学	C	60.0%	40.0%
自治医科大学	C	65.0%	35.0%
獨協医科大学	A	66.2%	33.8%
埼玉医科大学	C	52.3%	47.7%
国際医療福祉大学	C	61.4%	38.6%
杏林大学	B	58.8%	41.2%
慶應義塾大学	D	75.8%	24.2%
順天堂大学	A	52.3%	47.7%
昭和大学	C	55.5%	44.5%
帝京大学		非公表	
東京医科大学	A	63.8%	36.2%
東京慈恵会医科大学	C	65.7%	34.3%
東京女子医科大学	C	100%	
東邦大学	C	47.5%	52.5%
日本大学	C	68.0%	32.0%
日本医科大学	C	56.9%	43.1%
北里大学	C	60.8%	39.2%
聖マリアンナ医科大学	C	36.5%	63.5%
東海大学	A	65.0%	35.0%
金沢医科大学	C	47.7%	52.3%
愛知医科大学	C	59.5%	40.5%
藤田医科大学	C	60.0%	40.0%
大阪医科薬科大学	C	57.1%	42.9%
関西医科大学	C	66.1%	33.9%
近畿大学	C	70.5%	29.5%
兵庫医科大学	A	50.8%	49.2%
川崎医科大学	C	56.7%	43.3%
久留米大学	B	59.1%	40.9%
産業医科大学	C	61.0%	39.0%
福岡大学	B	70.2%	29.8%

地元占有率

※「2023年度用全国医学部最新受験情報」 P33より抜粋

大学名		地元出身者	その他
岩手医科大学	C	34.1%	65.9%
東北医科薬科大学	C	9.0%	91.0%
自治医科大学	C	3.3%	96.7%
獨協医科大学	A	15.4%	84.6%
埼玉医科大学	C	26.9%	73.1%
国際医療福祉大学	C	12.9%	87.1%
杏林大学		非公表	
慶應義塾大学		非公表	
順天堂大学	A	55.3%	44.7%
昭和大学	C	50.0%	50.0%
帝京大学		非公表	
東京医科大学	C	49.5%	50.4%
東京慈恵会医科大学	C	61.0%	39.0%
東京女子医科大学	C	50.0%	50.0%
東邦大学	C	44.2%	55.8%
日本大学	C	42.4%	57.6%
日本医科大学	C	62.6%	37.4%
北里大学	A	21.0%	79.0%
聖マリアンナ医科大学	C	22.6%	77.4%
東海大学	A	31.4%	68.6%
金沢医科大学	C	10.8%	89.2%
愛知医科大学	C	50.4%	49.6%
藤田医科大学	C	53.3%	46.7%
大阪医科薬科大学	C	33.0%	67.0%
関西医科大学	C	28.3%	71.7%
近畿大学	C	40.2%	59.8%
兵庫医科大学	A	27.9%	72.1%
川崎医科大学	C	23.6%	76.4%
久留米大学	C	25.0%	75.0%
産業医科大学	C	26.7%	73.3%
福岡大学		非公表	

©2006-2022 Medical Lab

受験校決定の『マッチング』

出題に特徴のある大学

©2006-2022 Medical Lab

入試科目等に特徴がある国公立大学　2023年度入試

※「2023年度用全国医学部最新受験情報」 P57より抜粋

科目・範囲	大　学
大学入学共通テストで 化学・物理を指定	名古屋市立大学、佐賀大学
個別試験で化学・物理を指定	群馬大学、名古屋市立大学、金沢大学、愛媛大学、九州大学、佐賀大学
個別試験で物理を指定	北海道大学（物理必須、化学・生物→ 1）
個別試験で理科なし	旭川医科大学、弘前大学、秋田大学、島根大学、徳島大学
個別試験で理科１科目で受験可能	奈良県立医科大学（化学・生物・物理→ 1）
個別試験で国語を課す	山形大学（国総［近代］・現 B）、東京大学（国総・国表）、 名古屋大学（国総・現 B［古文・漢文を除く］）、京都大学（国総・現 B・古 B）
個別試験で総合問題を課す	弘前大学、愛媛大学
個別試験で小論文を課す	群馬大学、横浜市立大学、京都府立医科大学
個別試験で全科目を１時間で実施	奈良県立医科大学（英語、数学、理科［化学・生物・物理］→ 1 を 180 分で解答） ※トリアージ方式

©2006-2022 Medical Lab

入試科目等に特徴がある私立大学医学部　2023年度入試

※「2023年度用全国医学部最新受験情報」 P57より抜粋

＜学校別＞

大　学	学科試験科目
岩手医科大学	英語と数学を合わせて 120 分で解答
昭和大学	英語（必須）と数学または国語［現代文］を合わせて 140 分で解答
帝京大学	英語（必須）、数学［Ⅰ Ⅱ AB のみ］・化学・生物・物理・国語［古文・漢文を除く］→ 2 科目 ※数学・化学・生物・物理・国語から 2 科目選択して 120 分で解答
日本大学	[N 方式] １次試験：英語・数学・理科２科目 ２次試験：英語・数学（記述式）、面接 （同一試験日、同一問題で複数の学部（学科）を併願することができる）

※「化学」は、化学基礎・化学、「生物」は、生物基礎・生物、「物理」は、物理基礎・物理。
※「数学」は、数学Ⅰ Ⅱ ABを出題範囲とする。

＜科目別＞

科目・範囲	大　学
数学の出題範囲に「数学Ⅲ」なし	帝京大学、東海大学、金沢医科大学（後期）、近畿大学
「理科」なし	金沢医科大学（後期）
「理科」が１科目	東海大学、兵庫医科大学（一般 B 高大接続型）
小論文なし	岩手医科大学、東北医科薬科大学（共テ）、自治医科大学、昭和大学（Ⅱ期）、東邦大学、 日本大学（N1 期／N2 期）、愛知医科大学（共テ前期／共テ後期／共テ（B 方式・地域特別枠））、 藤田医科大学（一般／共テ前期／共テ後期）、 関西医科大学（一般／共テ前期／共テ後期／共テ・一般併用）、福岡大学（共テ）

※「共テ」は、大学入学共通テスト利用日程。
※帝京大学は、選択科目によっては、理科を１科目もしくは選択なしに受験が可能。

©2006-2022 Medical Lab

Ⅲ．医学部の志望理由書・面接・小論文について

©2006-2022 Medical Lab

Ⅲ-①. 志望理由書について

©2006-2022 Medical Lab

Ⅲ-①-A.医師・研究者（医学部）の志望理由

©2006-2022 Medical Lab

「志望理由書」 作成の準備に向けた質問

1．あなたは本当に医師・研究者になりたいですか？

①あなたは医師・研究者になると自分で決めていますか？
②医師・研究者になるためにどんな困難も乗り切ろうという覚悟はありますか？

2．将来、どんな医師・研究者になりたいですか？

①あなたの理想とする（憧れる）医師・研究者は誰ですか？
②その医師・研究者の何に憧れますか？
③あなたが医師・研究者として大切にしたいことは何ですか？
④将来のあなたがほかの医師・研究者よりも優れている点があるとしたら何ですか？
⑤あなたは医療・研究のどういう分野に関わりたいですか？
⑥あなたはどこで、どのように医療・研究に関わりたいですか？
⑦大学卒業して10年後、医師・研究者としてどんな活躍をしていますか？
⑧大学卒業して20年後、医師・研究者としてどんな活躍をしていますか？
⑨50年後、医師・研究者としての人生を振り返って何を思いますか？
⑩あなたの理想の医師像・研究者像を描いてください。

©2006-2022 Medical Lab

「志望理由書」 作成の準備に向けた質問

３． 医師・研究者になろうとしたきっかけは何ですか？

①いつから医師・研究者になろうと思いましたか？
②何がきっかけで医師・研究者になろうと思いましたか？
③医師・研究者になりたいという思いが強くなった理由は何ですか？
④あなたは何のために医師・研究者になるのですか？

４． 医療・研究を通じて社会にどのように「貢献」しますか？

①これから医療はどのように進化していくと思いますか？
②未来の医療を良くするために必要なことには何がありますか？
③どんな新しい技術や診断法、治療法が開発・導入されたらいいと思いますか？
④日本（世界）の医療は今、どんな問題を抱えていますか？
⑤あなたが医師・研究者になったとき、日本（世界）の医療にはどんな問題が起きていますか？
⑥地域医療はどんな問題を抱えていますか？
⑦あなたはその問題の解決について何に取り組みたいですか？
⑧あなたは医師・研究者として地域・日本・世界・社会にどのように貢献したいですか？

©2006-2022 Medical Lab

「志望理由書」 作成の準備に向けた質問

5．あなたが医師・研究者に向いているのはどういうところですか？

①あなたの長所・短所は何ですか？
②あなたは家族・友人など周りの人からどんな人だといわれますか？
③それらは医師・研究者になったときにどのように生かせますか？
④あなたが理想の医師・研究者になるために身につけなければならないことは何ですか？
⑤あなたが医師・研究者に向いているのはどういうところですか？

6．大学や大学卒業後にどんな経験をしたいですか？

①自分の理想の医師・研究者になるために大学で力を注ぎたいことは何ですか？
②臨床実習では何を身につけたいですか？
③大学卒業後、初期研修では何を身につけますか？
④後期研修で身につけたいことは何ですか？
⑤大学卒業後、10年後までにどんな経験を積んでおきたいですか？
⑥大学卒業後、20年後までにどんな経験を積んでおきたいですか？
⑦それらを理想の将来像にどのように生かしますか？

©2006-2022 Medical Lab

なぜ、あなたは医師・研究者をめざすのか？

小さなことでも良いので、考えられる理由を書いてみよう。

①
②
③
④
⑤
⑥
⑦
⑧
⑨
⑩

なぜ、あなたは医師・研究者をめざすのか？

1分くらいで話せるように文章にしてみよう　※「きっかけ」と「決意」

©2006-2022 Medical Lab

医師･研究者に向いている人とはどんな人か？

①
②
③
④
⑤
⑥
⑦

※この中で自分に当てはまると思うものは？

医師・研究者として、あなたが理想とする将来像は？

©2006-2022 Medical Lab

医師・研究者として、あなたは社会にどのように貢献するのか？

©2006-2022 Medical Lab

地域医療（へき地医療も含む）について知っていることは？

知っていることを書いてみよう

①

②

③

④

あなたの出身地の地域医療について知ってることは？

①

②

③

④

地域医療の問題点とその解決方法をできるだけ具体的に書いてみよう

あなたはどのように地域医療に関わっていきたいか？

1分くらいで話せるように文章にしてみよう

©2006-2022 Medical Lab

Ⅲ-①-B.志望大学の志望理由

©2006-2022 Medical Lab

志望大学の『アドミッションポリシー』が重要！

「大学側が求める人物像」などが書かれている。

志望理由書作成・面接・小論文試験などに反映できる。

大学によっては、面接試験などでアドミッションポリシーについて質問されることも多い。

©2006-2022 Medical Lab

『３つのポリシー』『建学の精神』『学長・学部長の挨拶』などを理解する

『アドミッションポリシー』（入学者受け入れ方針）
『カリキュラムポリシー』（教育課程編成・実施の方針）
『ディプロマポリシー』（学位授与の方針）

『建学の精神』
『基本理念』
『学是・校是』
『学長・学部長の挨拶』

「パンフレット」「大学案内」「募集要項」「オープンキャンパス」
など

©2006-2022 Medical Lab

東京医科歯科大学　医学部医学科　アドミッションポリシー　（抜粋）

《求める学生像》

東京医科歯科大学は、本学の基本理念に共感し、本学で学ぶという強い意志をもった多様な人材を国内各地のみならず世界各国から受け入れたいと考えています。

本学の使命は、研究者・医療人のリーダーを育て、広く社会・人類に貢献する人材を育成することです。それを実現するためには、幅広い教養と知識や、医療・生命科学への旺盛な好奇心のもと、問題を発見し、解決していく能力が必要となります。

また、本学に入学し培われた経験は、日本国内のみならず、世界に発信していかなければなりません。そのためには、国内外に幅広く目を向け、医療・社会に貢献・還元するという使命感を在学中から意識し、卒業後に実践していく能力が必要です。

このように、本学で学ぶために必要な基礎学力と、それをさらに発展させる力、自ら考え学習する能力と、それを生涯にわたって継続する力と意志、年齢相応の成熟度を備え、社会に貢献するために必要な倫理観およびこれから伸びる力を有している人材を求めます。

《入学試験の基本方針》

本学の入学試験では、学力検査などにより、高等学校において修得すべき知識・技能と、それらを基にした応用力・展開力を評価します。

面接および提出書類により、医療に従事する者としての資質および適性、医療・生命科学領域に対する強い関心をもち、それらの将来的な課題に対し、自ら考え解決しようとする力およびこれまでの主体性をもった取り組み（高等学校等在籍時の自己の活動、国際感覚に優れる活動など）を評価します。

©2006-2022 Medical Lab

九州大学　医学部医学科　アドミッションポリシー　（抜粋）

医学科 Department of Medicine

21世紀の医学は、遺伝子治療や再生医学・医療など重要で魅力あふれる分野が多くあります。医学部医学科においても、高度先端医療の研究と実施にむけて、これまでの伝統を基盤にして、独創性に富んだ国際的視野をもつ医学者の養成を行っています。それと同時に、臨床の場では診療行為の実力とともに人間味あふれ、社会性に富んだ医師の育成を目指しています。そのために、人の生命に興味をもち、その研究に情熱を燃やし、積極性と活力をもって医学に取り組むことができる学生を歓迎します。

求める学生像（求める能力、適正等）

医師の仕事は、非常に幅広く、基礎の研究者から臨床医まで選択肢も多い中で、最も大切なことは弱い立場の患者さんの味方となり、病気に苦しんでいる患者さんを助けることです。単に受験学力が高いから医学部に入学するのではなく、医師としてあるいは医科学分野の研究者として活躍するに十分な能力と素質をもち、明確な目的意識をもった学生を望んでいます。

人間で最も大切なことは、「生きがいを持ち人間らしく生きること」です。命に直接関係するような病気を持っている患者さんは、ややもすると、この「生きがい」をなくし、生きる喜び、生きる目標を失っています。このような人達に優しい救いの手をさしのべることができる人間味あふれる学生を求めます。

©2006-2022 Medical Lab

志望大学の３つのポリシーで医師・研究者を目指す上で大切だと思う点

【　　】大学

『アドミッションポリシー』『求める学生像』

『カリキュラムポリシー』

『ディプロマポリシー』

©2006-2022 Medical Lab

志望大学の「建学の精神・基本理念」「学是・校是」「挨拶」で大切だと思う点

【　　】大学

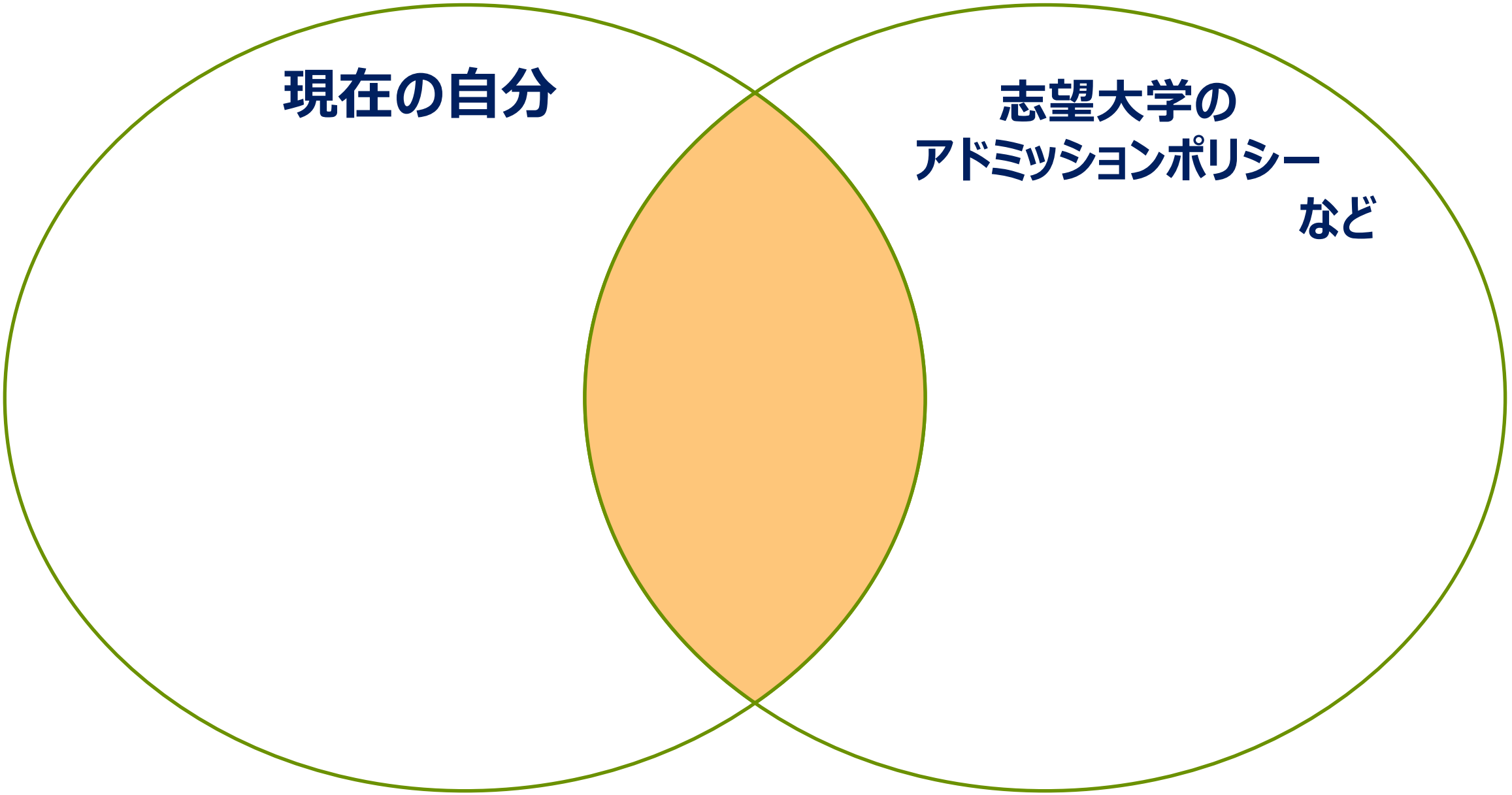
『建学の精神・基本理念』

『学是・校是』

『学長・学部長の挨拶』

©2006-2022 Medical Lab

現在の自分と志望大学のアドミッションポリシーの重なり



©2006-2022 Medical Lab

あなたがその大学を志望した理由は？

考えられる理由を書いてみよう

志望大学：　　大学

①

②

③

④

⑤

あなたがその大学を志望した理由は？

1分くらいで話せるように文章にしてみよう

©2006-2022 Medical Lab

☆志望理由書作成のポイント

医師※の志望理由を考える
『将来像』を明確にする

どうして医師※をめざすのか？
どんな医師※になりたい？
そのためにどのように努力していくのか？

『医療』を通じて『社会』へどう貢献するかを考える

どのように『社会』に貢献したい？
あなたが『医療』を良くするとしたら？

志望大学を目指す理由を考える

アドミッションポリシーは自分の目指す未来につながるか？
理想の将来を実現するためにこの大学で何を学ぶか？

©2006-2022 Medical Lab

Ⅲ-②. 面接試験対策について

©2006-2022 Medical Lab

医学部の「面接試験」の現状

■個人面接
受験生1人、面接官2人以上

■集団面接（グループ面接）
受験生2人以上、面接官2人以上
【国公立大】群馬大、信州大、徳島大など
【私立大】福岡大など

■プレゼンテーション（個人面接）
受験生1人、面接官2人以上
【国公立大】東北大、東京大、浜松医科大、名古屋大、広島大など
【私立大】兵庫医科大など

■集団討論（グループ討論）
受験生2人以上、面接官2人以上
【国公立大】岐阜大、名古屋市立大、三重大、滋賀医科大、大分大、宮崎大など
【私立大】自治医科大、東邦大、日本医科大、金沢医科大、福岡大など

■MMI（multiple mini interview）
特定のテーマについての個人面接を複数回、面接官およびテーマを変えて実施する形式
【国公立大】北海道大、東北大、千葉大、横浜市立大、神戸大など
【私立大】東京慈恵会医科大、東邦大、藤田医科大、など

©2006-2022 Medical Lab

「個人面接」対策上の注意点

①志望理由書・自己推薦書など事前提出書類との整合性

②アドミッションポリシー等の確認
内容を理解し、重要な箇所は暗記をする

③受験する大学の前年度までの傾向把握
質問内容、試験時間、面接官など

©2006-2022 Medical Lab

☆医学部の面接試験でよくある質問例①

1.「入学・将来」に関する質問
□医師・医学研究者を志した理由・きっかけ
□本学の志望理由
□理想の医師像・研究者像（それになるためには）
□将来は何科の医師になりたいか
□アドミッション・ポリシーについて
□医師に必要なもの・資質
□大学で何をしたいか（勉強と勉強以外）
□大学卒業後に経験したいことは
□留学することについてどう考えているか
□将来は地域医療に携わりたいか
□将来はどのように社会に貢献したいか
□あなたは本学にどのように貢献するのか

2.「自己」に関する質問
□自己PR
□自己について（性格、長所・短所、特技、趣味など）
□出身地や出身高校について
□中学時代や高校時代に最も印象に残っていること
□尊敬する人物（それはなぜか）
□ボランティア活動の有無
□座右の銘は
□部活動について
□得意・不得意（好き・嫌い）な科目について
□リーダーシップを発揮した経験について
□日常生活で心がけていることは
□あなたに影響を与えた本は

©2006-2022 Medical Lab

☆医学部の面接試験でよくある質問例②

3.「医療」に関する質問
□最近、気になる医療ニュースは
□今年のノーベル医学・生理学賞について
□近年の医療の問題点について(理由・解決法)
□地域医療について
□少子高齢化について
□終末期医療について
□再生医療の可能性と課題点
□AIが医療に与える影響
□医師の働き方改革について
□混合診療について
□臓器移植について
□遺伝子診断の可能性と課題点

4.「事前準備がしにくい」質問
□写真や絵を見て物語をつくる(タイトルをつける)
□あなたを色(花・季節・文房具など)に例えると何か
□老人は○○な存在である、の○○にあてはまるのは
□6歳のがん患者に「あなたがうらやましい」と言われたら
□高齢者にインターネットを説明するとしたら
□「一番大切なものは目に見えない」について賛同するか
□あと一日で地球が終わるとしたら何をするか
□「犠牲」「奉仕」「忠誠」の中で一番嫌いな言葉と理由
□人間の心の奥は○○である、の○○とは
□これまでの人生で1つだけやり直せるとしたら
□破っても良いルールと理由
□「優しさ」とは何かを定義せよ

©2006-2022 Medical Lab

特徴的な質問（2022年度入試より）

質問内容	出題大学
アドミッションポリシーの中で、どれが自分と一番合致するか？	複数大学
アドミッションポリシーが記載された用紙を読み、自分に当てはまるものを選び、具体的なエピソードを話す	藤田医科大学
キャリア形成プログラムについて／産業医の仕事について／修学資金制度について／今後の産業医に求められること	産業医科大学
学是「克己殉公」、すなわち「我が身を捨てて、広く人々のために尽くす」には批判もあるが、どう思うか？	日本医科大学
「建学の理念」を3つ言えるか？	川崎医科大学 東京女子医科大学
国際性とは？／国際的に働くとは？／医師にとっての英語とは？	国際医療福祉大学
印象に残っている本を3冊挙げ、その中から面接官が読みたくなるように1冊紹介してください。	埼玉医科大学
寮生活の楽しみな点と不安な点	昭和大学 川崎医科大学

©2006-2022 Medical Lab

特徴的な質問(2022年度入試より)

質問内容	出題大学
オープンキャンパスに参加したか？／WEBサイトは見たことがあるか？	複数大学
(大学の所在地に)以前来たことはあるか？どんな印象か？卒業後はどうするつもりか？	複数大学
30秒間で窓の外の景色を見て俳句を作ってください。	福井大学
新型コロナウイルスのワクチン接種義務化についてどう考えるか？	北里大学
自己紹介してください。	複数大学
「こころ」「あたま」「からだ」の3つの単語を使って医師志望理由を話してください。	愛知医科大学
絵や写真を見てどう思うか？	複数大学
ウクライナ情勢についてどう思うか？	兵庫医科大学
「親ガチャ」について	愛知医科大学 国際医療福祉大学

©2006-2022 Medical Lab

「集団面接」対策上の注意点

※同じ質問に順番に返答する

①傾聴力

発言している人の話を熱心に聞く。
頷きを入れるなど、傾聴している態度を発言者に伝わるようにする。

②質問をした面接官を向いて返答をする

返答は、「結論」→「根拠」（→「結論」）の順番に述べる。
「根拠」は、自分の経験や具体的なエピソードを交える。
1人で長く話さない。

③他の人の意見も参考にしながら簡潔に発言をする

最初に発言：分からない場合は？
途中で発言：「〇〇さんの意見と同じ考えです。加えて～～」
「皆さんと同じ意見ですが、加えて～～」
※他の人に対する反対意見は言わない。

©2006-2022 Medical Lab

「集団討論」対策上の注意点

①論破が目的ではない

一つのチームとして結論をまとめる

②主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度

③コミュニケーション能力

・聴く力　・理解する力　・簡潔に話す力

©2006-2022 Medical Lab

横浜市立大学　特別公募制学校推薦型選抜　面接試験(MMI)について

1次:出願書類審査　→　IB約6名　推薦県内約25名　推薦県外約15名　合格

2次:面接審査(MMI)　異なる観点のミニインタビュー(約10分)を5回:1000点

【IB】3次:　IBの科目要件を満たし、入学の意思を示した者の中から、
IBDPの最終成績(45点)×22 ＋ 面接点1000点 ＝ 1990点満点 で評価

【推薦】3次:共通テスト成績:1000点 ＋ 面接点1000点 ＝ 2000点満点で評価
ただし 一般選抜の第1段階選抜合格者の共通テスト平均点
(2022年度は 814.42点)を下回るときは不合格

©2006-2022 Medical Lab

横浜市立大学　特別公募制学校推薦型選抜　面接試験(MMI)の観点

	A	B	C	D	E
観点	志望理由	社会性	協調性	独創性	倫理性
課題を1分間で読んで自分の考えをプレゼンする（約10分×5回）					
【協調性】あなたは剣道部のキャプテンです。近々、大会があるのに練習に出てこない部員がいます。大会ではこの部員は絶対に必要です。あなたはキャプテンとしてどうしますか。					
【倫理性】あなたは登山で頂上まで登りました。そろそろ下山をしないと夕方までに麓に戻れません。下山の途中、足を悪くした老人が倒れていました。あなたはどうしますか。携帯電話は使えず、老人をおぶって下山もできません。					
【独創性】与えられたテーマに対して絵を描き、その意図を論理的に説明する。 （例）「気持ちの絵」を描いてください。					

©2006-2022 Medical Lab

「MMI方式」対策上の注意点

①質問の意味・意図を正しくつかむ

②自分の意見の根拠を明確に

③多角的な視点を持つ

④反対意見にも言及する

©2006-2022 Medical Lab

直前期の面接対策

過去問をもとに事前に準備できる
質問に対しては回答を考える

↓

過去問などを使って模擬面接を行う

↓

先生からのから指導を受ける。

**先生からの
フィードバック**

※一問一答にならず、自分の言葉で語る。

©2006-2022 Medical Lab

Ⅲ-③．小論文対策について

©2006-2022 Medical Lab

医学部の「小論文試験」の現状

■テーマ型小論文

『「再生医療の課題と展望について」の考えを述べよ』
このように与えられたテーマについて論述する。

■課題文型小論文

与えられた課題文を読んで論述する。
課題文は日本語か英語で出題される。
現代文の問題に近い出題をする大学もある。
英語の問題に近い出題をする大学もある。

■図表・グラフ読み取り型小論文

厚生労働省の白書、国立研究所の統計データ
などの図表やグラフを読み取って論述する。

©2006-2022 Medical Lab

2022年度入試　小論文試験の出題例

大学名	出題内容（2022年度 受験振り返りシートより）
長崎大学 （学校推薦型選抜ⅡB）	■テーマ型（90分） 地域医療について、課題とそれを解決するためのあなたの考えを1000字以内で書きなさい。
富山大学 （学校推薦型選抜）	■テーマ型（60分） 2021年5月21日、参議院本会議で改正医療法が可決、成立し、医師の健康確保のための働き方改革が進められている。時間外労働時間、連続勤務時間の制限、勤務間インターバルが義務付けられる中で、今後の地域医療がどのように変化していくと考えられるか。 また、そうした中であなた自身は、医師としてどのように取り組んでいきたいか800字以内で述べなさい。
佐賀大学 （学校推薦型選抜）	■課題文型（90分） “Empathy Can Lead to Short-sighted and Unfair Moral Bias” by Paul Bloom York Times〔online〕 Dce.29,2016　より一部を改編して引用 テーマ「 Empathy　について」 問１　空所補充　５題（選択肢から選ぶ） 問２　日本語訳　２題 問３　本文中の筆者の意見に対してどのような反論が考えられるか、また、そのことを踏まえて自分の考えを800字以内で述べよ

©2006-2022 Medical Lab

2022年度入試　小論文試験の出題例

大学名	出題内容（2022年度 受験振り返りシートより）
久留米大学 （一般選抜・学校推薦型選抜）	■テーマ型 □一般型：「人工知能（AI）の医療への応用について（800字） □学校推薦型：地域医療における「かかりつけ医」の役割（800字）
福岡大学 （一般選抜）	■課題文型 『新型コロナウイルス感染症により亡くなられた方及び、その疑いがある方の処置、搬送、葬儀、火葬等に関するガイドライン　令和2年7月24日（第1版）』　（厚生労働省）　の抜粋を読み、 新型コロナウイルス感染症で自分の肉親が亡くなった場合を念頭に置き、その葬儀等を含め配慮すべき事項について考えを述べよ。（700字）
産業医科大学 （一般選抜）	■課題文型 1．『Society 5.0』（内閣府HPより抜粋） Society1.0:狩猟、Society2.0:農耕、Society3.0:工業、Society4.0:情報 ①「Society5.0」が目指す社会（200字） ②「Society5.0」の実現した社会における医師の役割（400字） 2．『科学と非科学　その正体を探る』（中屋敷 均） ①「昨日も今日も阪神が勝ったので、明日も阪神が勝つ」という予測と、 「リンゴを枝から切り離せば地上に落下する」という法則の違いを説明せよ（21cm×15cm） ②課題文が述べている「科学的真理」は医学に存在すると思うか（400字）

©2006-2022 Medical Lab

Step1　小論文の基礎を身につける

- ☑ 作文と小論文の違いはわかるか？
- □ 原稿用紙の使い方は理解しているか？
- □ 誤字・脱字、言葉づかいは大丈夫か？
- □ 文章の要約はできるか？
- □ 200～300字程度の文章をすぐに書けるか？
- □ 一文一文を簡潔に書くことができるか？

©2006-2022 Medical Lab

課題文型小論文の基礎力をつけるための練習

① 2000～4000字程度の文章を読む

② 200～300字に要約する

＊自分の考えを入れない。

※必ず添削をしてもらうこと。

③ 400～800字で自分の考えを表現する

＊医療に絡めて書く。
＊自分の経験を入れる。
＊最後に自分の目指す「将来の医師像」を書く。

※必ず添削をしてもらうこと。

©2006-2022 Medical Lab

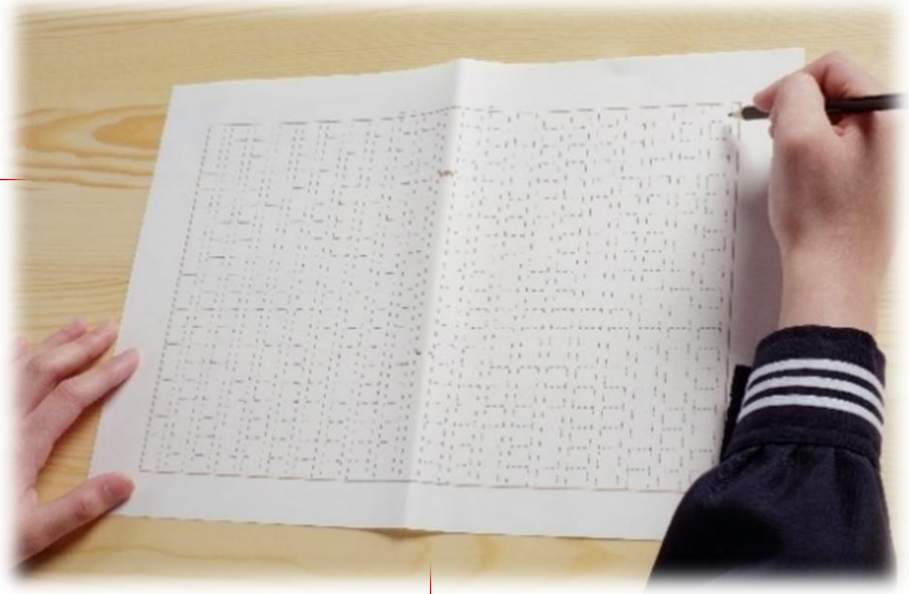
Step 2　志望校の出題傾向に合わせた対策をする

志望校が決まったら、**過去問演習**を！

- □ **志望大学の出題傾向・趣旨を理解しているか？**
- □ **設問に沿った解答を作成できるか？**
- □ **自分の考えを論理的に表現できるか？**
- □ **多くの人が読んで納得のいく文章になっているか？**

©2006-2022 Medical Lab

医学部の小論文対策について



小論文の書き『型』=『論述構成』を学ぶ

↓

志望校の過去問や類題を使い、
自分の手を動かして書いてみる。

↓

先生の添削指導を受ける。

↑ **先生からのフィードバック**

※「段落分け＝論述構成」 ⇒ 構成の組み立てを明確に

©2006-2022 Medical Lab

メディカルラボがご提供できること

メディカルラボでは高校の先生方と協力して
生徒を医学部合格に導きます。

©2006-2022 Medical Lab

医学部現役合格のための志望理由書作成　面接試験対策

■ 生徒・保護者向け

【実施内容】

・講座時間　60分+模擬面接
（1人あたり約15分）

・実施場所　貴校にて

・実施費用　無料

やまもとゆうぞう
山本雄三

前職では3大予備校の1つで校舎運営や本部運営に携わる。
医系専門予備校メディカルラボに入社後、
福岡校の校舎長を経て、
「メディカルラボ情報研究所」所長に就任。
医学部入試情報を独自に収集・分析し、学習カリキュラムや
指導に反映。全国で開催する医学部入試に関するガイダンスの企画・講演
や、同予備校監修の『全国医学部最新受験情報』の企画・構成を担当。
九州大学卒業、福岡市生。

講座内容

- □ 最初に理解しておくべきこと
- □ 志望理由書の書き方について
- □ 面接の対策について

参加者の声

□普段の学習や生活で志望理由書や面接について詳しく教えてもらえる機会がなかなかないので、とても参考になる情報を知ることが出来ました。

□高1の内に、医学部合格に向けてやるべきことが分かった。

□自分の医師を目指す者としての覚悟の甘さを突かれたと思いました。勉強だけでなく、なぜ医師を目指すのかを常に考えながら過ごしたいと思いました。

©2006-2022 Medical Lab

医学部受験指導研究会　分析編・入試直前編

■ 先生方向け

【実施内容】

・講演時間　　それぞれ 70～120分（応相談）

・実施場所　　応相談

・実施費用　　無料

この本を先生方に
無料で進呈します

分析編内容

□昨年度 国公立大・私立大学
　医学部入試の総括

□医学部“学校推薦型・総合型選抜”について

入試直前編内容

□次年度医学部入試動向

□受験校選定について

□医学部の志望理由書・面接・小論文

©2006-2022 Medical Lab

医学部入試 合格ガイダンス　入門編・分析編・入試直前編

■ 生徒・保護者向け

【実施内容】

- 講演時間　　それぞれ 70～120分（応相談）
- 実施場所　　応相談
- 実施費用　　無料

この本を参加者に
無料で配布します

入門編　講演内容

- ☐ 医学部の入試科目
- ☐ 合格に必要な学力
- ☐ 合格するための勉強法
- ☐ 入試問題の特徴
- ☐ 入試のスケジュール
- ☐ 医学部の学費

分析編　講演内容

- ☐ 昨年度 国公立大・私立大学医学部入試の総括
- ☐ 今年度入試に向けて
- ☐ 医学部“推薦入試・AO入試”合格を勝ち取るには

入試直前編　講演内容

- ☐ 次年度　医学部入試動向
- ☐ 受験校選定
- ☐ 入試直前期の勉強法
- ☐ 医学部入試に関する個別相

参加者の声

- ☐ 模試の偏差値だけで合否が決まるわけではないこと、また各大学の入試問題に独特の特徴があることが分かりました。
- ☐ 現在高校３年生ですが、残りの時間をどのように使い勉強したらよいか、アドバイスを頂きたいです。
- ☐ とても参考になりありがとうございました。模試判定だけで安心して合格できるわけではないと知りました。志望校別の対策がとても大切だと知りました。
- ☐ メディカルラボの本は、本屋さんで毎年買っていてとても参考になります。

©2006-2022 Medical Lab

講演会　医学部合格までの最短ルート

■ 生徒・保護者向け

【実施内容】

・講演時間　　70～120分（応相談）

・実施場所　　貴校にて

・実施費用　　無料

この本を参加者全員に無料で進呈します

講演内容

- ☐やる気を引き出す目標設定って？
- ☐効率よく合格を目指す学習計画の立て方？
- ☐学習計画を確実に実行できる工夫は？
- ☐入試本番の得点力をUPさせる過去問活用法は？
- ☐面接試験でライバルの差をつける準備の仕方は？
- ☐入試本番で実力を発揮するための方法は？

講演者

可児（かに）良友（よしとも）

参加者の声

- ☐受験前にこの話を聞けて自分にとってプラスになった。
- ☐よく先生にミスが多いと指摘を受けるので、その対処方法がわかった。
- ☐週間の計画の立て方がとても参考になった。
- ☐勉強に対する見方が変わった。意欲が上がった。
- ☐成績を上げることはもちろん、志望校合格に向けてどんなことが必要か改めて考えることができた。
- ☐子供を信じて支えていこうと思いました。
- ☐親子ともにとても参考になりました。

©2006-2022 Medical Lab

河合塾グループ 医系専門予備校

メディカル ラボ®

https://www.medical-labo.com/

©2006-2022 Medical Lab

（本資料について）
本資料の著作権は、出典が明記されているものを除き、原則として医系専門予備校メディカルラボに帰属します。
本資料の一部または全部を無断で複写、複製、引用、転載等を行うことを禁止します。